

高根沢町都市計画マスタープラン 《資料編》

目 次

1	現行計画の検証	1
2	上位計画における位置づけ	
(1)	『国土形成計画』	3
(2)	『とちぎ未来創造プラン 2021-2025』	4
(3)	『宇都宮都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』	5
(4)	『たかねざわ地域経営計画 2026 後期計画』	7
3	現況特性	
(1)	位置・地勢	8
(2)	人口特性	9
(3)	産業特性	12
(4)	土地利用特性	15
(5)	交通特性	19
(6)	都市計画・都市整備等の状況	20
(7)	景観資源等の状況	29
4	まちづくりに関するアンケート調査結果	
(1)	調査の概要	30
(2)	町民アンケート調査結果	31
(3)	従業者アンケート調査結果	47
(4)	高校生アンケート調査結果	52

1 現行計画の検証

現行計画の「重点事業」として位置づけた事業について、進捗状況とその評価、今回の見直しにおいて踏まえるべき課題等を整理します。

	重点事業名	進捗状況	評価・課題等
(1) 西部台地地区	①面的整備地区のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業について、中坂上地区・宝積寺駅西第一地区は事業完了 駅西第二地区を沿道街路整備事業により推進中。 住民参加型のまちづくり手法の導入は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な居住地整備による人口減少傾向の抑制効果（人口ビジョンの想定より減少幅が小さい* p11 参照） 駅西第二地区の整備事業推進 住民参加型のまちづくりの実施地区・手法等の検討
	②中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ちよっ蔵広場を中心としたイベント等の実施 宝積寺駅東における都市再生整備計画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 町のシンボルとなる空間形成の継続 駅東における都市再生整備計画の推進（R7以降実施）
	③市街地の定住環境向上	<ul style="list-style-type: none"> 宝積寺駅西における都市計画道路整備等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 整備手法の検討の継続
	④都市計画道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 宝積寺駅西第一地区内の都市計画道路の整備完了（宝積寺西通り、宝積寺南通り） 駅西第二地区内の宝積寺西通り、西駅前通りの事業推進中 	<ul style="list-style-type: none"> 既成市街地における未着手路線が課題 効率的な整備手法による整備推進検討の継続
	⑤適正な土地利用の検討	市街化区域縁辺部	<ul style="list-style-type: none"> 中坂上地区の事業完了 市街化区域縁辺部の土地利用は大きな変化なし
石神地区		<ul style="list-style-type: none"> 国道408号バイパス整備（野高谷交差点方面から鷲ノ谷交差点） 	<ul style="list-style-type: none"> 国道408号バイパスの国道4号までの整備継続 沿線の開発動向等を踏まえた適正な土地利用誘導
(2) 中央部地区	①仁井田駅周辺の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路沿線の店舗等の立地（地域の生活サービス機能の維持） 仁井田駅前の土地利用は大きな変化なし 	<ul style="list-style-type: none"> 仁井田駅前の店舗や公共施設等の維持、さらなる活性化への取組 都市基盤が整備済のため今後は住民参加型の取組による魅力・賑わいづくりの促進
	②下野花岡駅周辺の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設（駅前広場、駐車場等）の維持・管理 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模工場跡地における民間企業創業後に通勤等の利用が回復することを見据えた利用環境向上の検討
	③大規模工場跡地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業の進出決定、整備中 	<ul style="list-style-type: none"> 当該箇所以外にも産業振興のために利活用可能なエリアの検討
	④地域活力誘導エリアにおける土地利用の誘導	<ul style="list-style-type: none"> （主）宇都宮那須烏山線沿線における土地利用（開発）に大きな変化なし 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模工場跡地に民間企業の進出が決定したこともあり、沿線における土地利用開発の検討の継続
	⑤環境・農業と連携したまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境・エコに配慮した町の特徴的な取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の継続的な実施

	重点事業名	進捗状況	評価・課題等
(3) 東部台地地区	①地域の生活環境の向上	・生活道路の維持・管理等	・地域の人口動態を踏まえた生活支援の検討（「小さな拠点」等*p4参照）
	②地域資源を活かしたまちづくり	・元気あっぷむら等の既存資源の活用	・観光客数の回復が課題（新型コロナウイルス影響からは回復しつつあるが H24 以前は年間100万人以上あった*p14参照）
(4) 町全域	①景観形成の取組	・『高根沢町景観計画』運用の継続	・『高根沢町景観計画』の運用 ・個別景観形成方策（重点地区、景観重要建築物、景観重要樹木等）の検討
	②市街化調整区域におけるまちづくり	・現行法規制に基づく開発等の規制・誘導 ・市街化調整区域における開発は個別案件（店舗・住宅等）が中心	・「地域活力誘導エリア」等における民間活力等の誘導 ・農村部における学校・公共施設等を中心とした地域を支える機能の確保（「小さな拠点」等*p4参照）
	③防災機能を確保したまちづくりの推進	・頻発・激甚化する自然災害への対応	・水災害・土砂災害のハザードを踏まえた予防・事後対応（『高根沢町国土強靱化大綱』『高根沢町地域防災計画』に準拠） ・都市基盤整備等における防災への配慮、関係部門との連携
	④水と緑のネットワークの形成	・歩行者通行環境や都市公園等の整備（幹線道路、通学路、面的整備地区等）	・観光拠点や地域資源等を安全・快適に移動できる環境づくりの継続
	⑤田園集落におけるまちづくり	・環境・農業と連携したまちづくり（*前ページ(2)⑤）の実施	・東小跡地の利活用 ・農業と連携したまちづくり（農地の多面的機能、6次産業等）の検討

2 上位計画等における位置づけ

(1) 『国土形成計画』（令和5年7月）

《目指す国土の姿》

「新時代に地域力をつなぐ国土 ～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～」

- デジタルとリアルとの融合による活力ある国土づくり
- 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり
- 世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む個性豊かな国土づくり

《国土構造の基本構想》

「シームレスな拠点連結型国土」

- ・ 広域的な機能の分散と連結強化（広域圏の自立的発展、全国的な回廊ネットワーク形成）
- ・ 持続可能な生活圏の再構築（地域コミュニティの再生、市町村界にとらわれない新たな発想からの地域生活圏の形成）

《重点テーマ》

【国土の刷新に向けたテーマ】・ デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

- ・ 持続可能な産業への構造転換
- ・ グリーン国土の創造
- ・ 人口減少下の国土利用・管理

【横断的なテーマ】・ 地域の安全・安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化

- ・ 地域を支える人材の確保・育成

《分野別施策の基本的方向》 * 抜粋

- ・ 地域の整備（持続可能な地域づくり、コンパクト+ネットワーク、住生活の質の向上）
- ・ 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ（地域交通体系の構築、デジタルインフラの整備・運用、ICT・データ利活用の促進）
- ・ 防災・減災、国土強靱化（水害・土砂災害への対応、安全な農山漁村の実現、戦略的メンテナンスによる国土基盤の持続的な機能発揮、地域防災力の向上）
- ・ 環境保全及び景観形成（物質循環の確保と循環型社会の形成、地域の個性を活かした魅力ある景観形成、美しい景観の活用による地域の活性化）

◇ 『首都圏広域地方計画』 * 中間とりまとめ（案：令和7年10月）

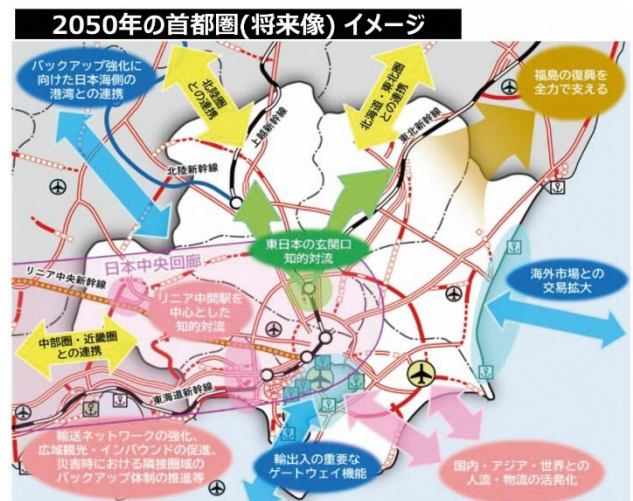
《将来像》 ～対流型首都圏の更なる深化へ～

《4本の柱》

- 我が国を牽引する首都圏としての強みを伸ばす
- 巨大災害にしなやかに対応する圏域の実現
- “グリーンメトロポリス”の実現
- 多様で“ゆたかな”暮らしの創造

《広域連携プロジェクト》 * 抜粋

「広域的なインフラを活用した地域連携プロジェクト」「四方よし」をめざす観光文化プロジェクト」「様々な主体が取り組む地域強靱化プロジェクト」「二地域居住・交流人口拡大プロジェクト」



(2) 『新とちぎ未来創造プラン 2026-2030』（令和8年2月）

《とちぎの将来像》

共に創る 人も地域も輝く “元気なとちぎ”

- 未来を担う人材が育ち、女性や若者が輝く「とちぎ」：人づくり戦略
- さまざまな産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「とちぎ」：産業成長戦略
- 県民一人ひとりが健康に暮らし、希望を持てる「とちぎ」：健康・共生戦略
- すべての県民が安全・安心に生活できる「とちぎ」：安全・安心戦略
- 未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「とちぎ」：地域・環境戦略

《産業成長戦略》 *抜粋

- ・ 未来を築く産業創出・成長プロジェクト（経済・雇用を牽引する産業の創出・振興、中小企業・小規模事業者の持続的発展支援、企業誘致の推進、産業人材の確保・育成等）
- ・ とちぎの魅力を生かした観光立県・国際戦略プロジェクト（持続可能な観光地づくりの推進、国内外からの観光客の誘客促進、県産品・県産農産物の輸出促進等）

《安全・安心戦略》 *抜粋

- ・ 危機管理・災害対応力強化プロジェクト（地域防災力の充実・強化、災害等の危機事象から県民や地域を守る体制の充実・強化等）
- ・ いのちと暮らしを守る県土づくりプロジェクト（災害に強く県民の命と暮らしを守る社会資本の整備推進、社会資本の老朽化対策の推進等）

《地域・環境戦略》 *抜粋

- ・ ふるさとの魅力創造プロジェクト（関係人口の創出(移住・定住の促進)、文化・スポーツ等の地域資源を活用した地域づくり、とちぎへの愛着・誇りの醸成や「栃木ファン」の強化・拡大）
- ・ スマートで暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト（公共交通サービスの確保・充実、地域間連携の促進、DXの推進）
- ・ 次世代につなぐ環境立県プロジェクト（カーボンニュートラル(脱炭素化)の推進と気候変動への適応、サーキュラーエコノミー(循環経済)への移行の推進等）

(3) 『宇都宮都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』（案）

① 目標年次

- ・将来の都市構造：2040（R22）年
- ・土地利用、都市施設等の決定方針：2030（R12）年

② 都市計画の範囲・規模

- ・範囲：宇都宮市・鹿沼市（一部）・真岡市・上三川町・芳賀町・壬生町・高根沢町
- ・宇都宮都市計画区域：約 95,263 ha（高根沢町：約 7,087 ha）

③ 都市づくりの基本理念

- ・誰もが暮らしやすい集約型の都市づくり
- ・誰もが安全でスムーズに移動できる都市づくり
- ・災害に強くてしなやかな都市づくり
- ・環境にやさしい脱炭素型都市づくり
- ・本区域の魅力や強みを活かした都市づくり

図：将来市街地像



④ 土地利用 *抜粋

- ・住宅地：宝積寺地区、光陽台・宝石台地区、JR 仁井田駅周辺
- ・商業地：JR 宝積寺駅の周辺（日常的商業地）
- ・工業地：芳賀・高根沢工業団地、砂部工業団地、情報の森とちぎ等

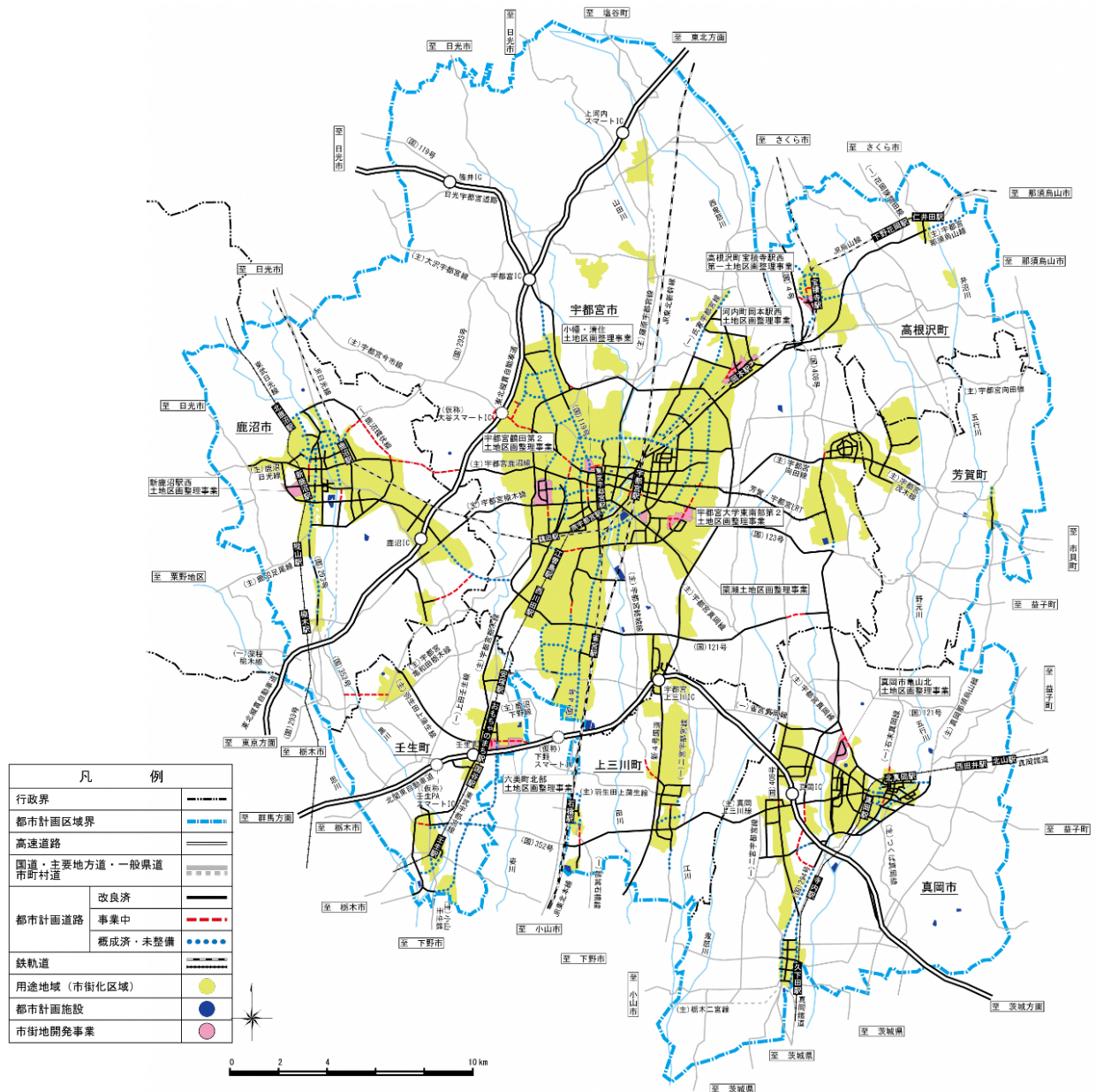
⑤ 都市施設 *抜粋

- ・道路：(国) 408 号 (宇都宮高根沢バイパス((都)3・1・101 号テクノ通り))、町道（都市計画道路 3・4・401 号宝積寺西通り）、町道（都市計画道路 3・4・402 号宝積寺南通り）

⑥ 市街地整備 *抜粋

- ・高根沢町宝積寺駅西第二土地区画整理事業：約 2.2ha（施行中）

図：都市施設構想図・市街地開発事業構想図



(4) 『高根沢町地域経営計画2026』（令和7年12月）

① まちの将来像

『未来への安心と希望に満ちたまち』

② 将来人口の推計値：27,500人（令和17年）

③ 政策分野別計画 *抜粋

《産業振興分野：魅力と活力があるまちづくり》

- ・「持続的に発展する農業」を確立する（農業を担う人材の確保・育成、効率的な農地利用の促進、多面的機能の発揮による地域の強靱化）
- ・「地域経済」を振興する（地域経済を牽引する企業の立地・定着の促進、切れ目のない創業支援の充実、町の賑わいづくり）
- ・「魅力と活力があふれるまち」をつくる（プロモーションの推進による交流人口・関係人口の創出及び定住人口の確保、道の駅たかねざわ 元気あっぷむらを拠点とした町の魅力創出、県立高根沢高校、JR 烏山線の維持存続対策）

《環境・社会基盤分野：快適で住みよいまちづくり》

- ・「快適な住環境」をつくる（計画的な道路環境の整備、市街地の良好な住環境の整備、最適な公共交通の仕組みづくり）
- ・「水の安定供給と水質の保全」を図る（水の安定供給、下水道施設の耐震化・長寿命化、水洗化率向上及び合併浄化槽への転換促進）
- ・「環境にやさしいまち」をつくる

《安全・安心分野：安全で安心して暮らせるまちづくり》

- ・「災害に強く安全安心なまち」をつくる（町の防災体制強化、住民意識の高揚による地域防災力の向上、災害に強い生活インフラの整備）
- ・「安全安心に暮らせるまち」をつくる（防犯に関わる地域の意識醸成、交通安全への意識向上、空家等対策の充実、消費生活相談体制の強化と充実）

3 現況特性

(1) 位置・地勢

① 位置

栃木県のほぼ中央部、首都東京から約110km、県都宇都宮市の北東約12kmに位置します。北はさくら市、東は那須烏山市、西は鬼怒川を挟んで宇都宮市、南は芳賀町と市貝町に接しています。

町域は東西約11km、南北約12kmの、やや正方形に近い形状を有しています。



② 地勢

町中央部には水田を主体とする平坦地が広がり、町東部の八溝山系の一端を担う丘陵地帯と、町西部を流れる鬼怒川とにより、豊かな自然を感じられる地勢となっています。

(2) 人口特性

① 人口・世帯数

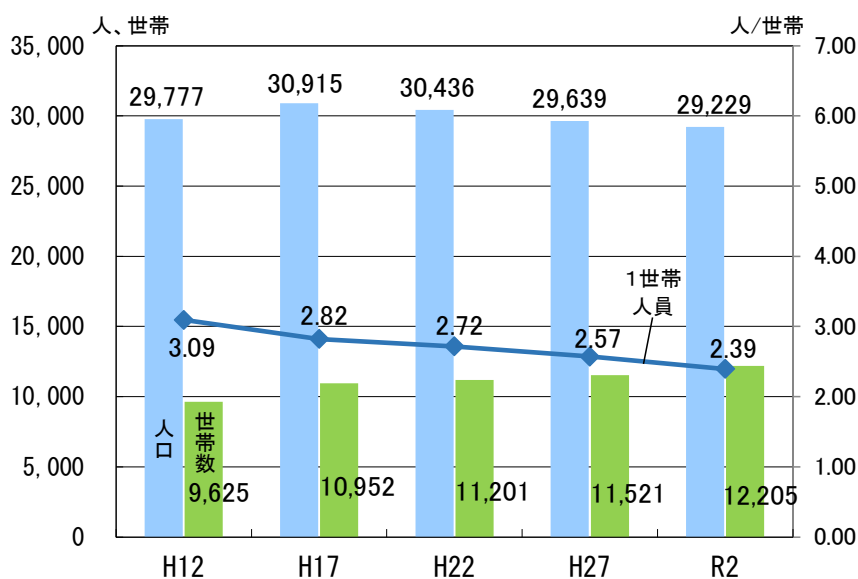
人口は、平成17年以降、減少傾向にあり、平成17年から令和2年では約1,700人の減少となっています。

なお、平成27年と令和2年の比較では-1.4%となっており、県全体の-2.1%と比べて減少割合は小さく、県内他市町と比べても小さくなっています。

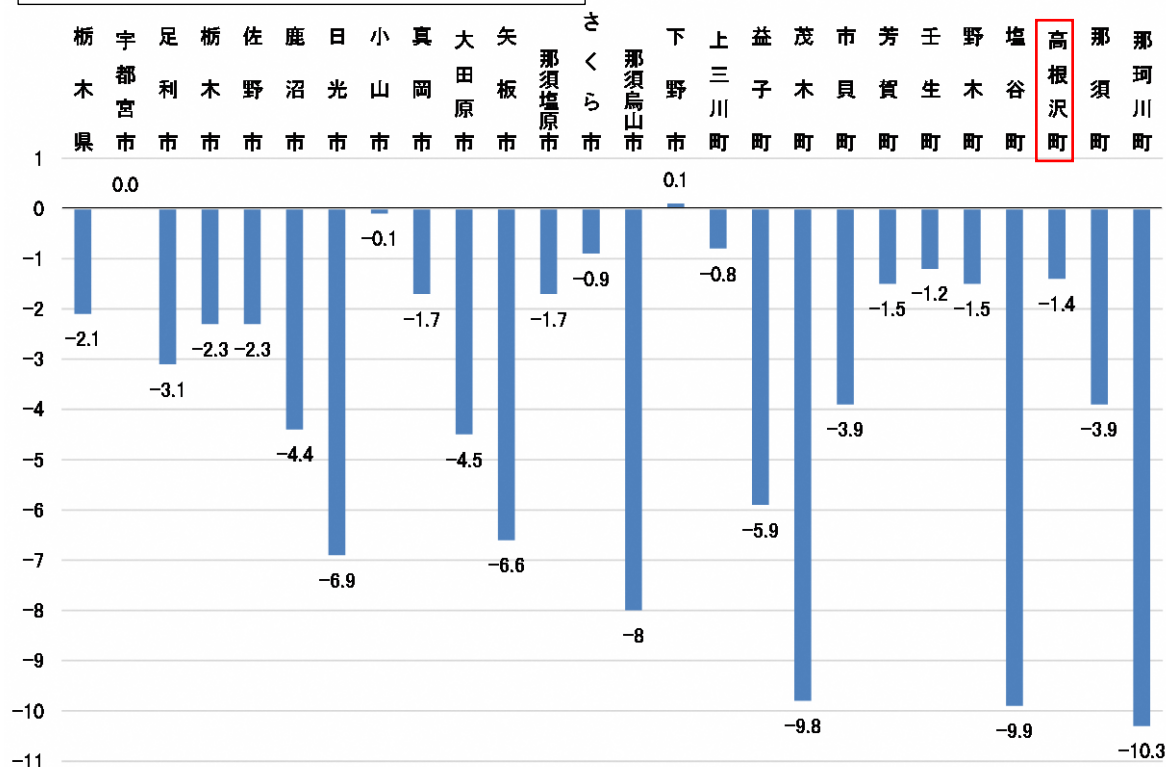
世帯数は一貫して増加傾向にあり、平成12年から令和2年の20年で約2,600世帯の増加となっています。

1世帯当たりの人員は減少傾向が続き、平成12年から令和2年の20年で約0.70人/世帯、割合にして約23%の減少となっています。

グラフ：人口・世帯数の推移



グラフ：人口増減参考 (H27⇒R2 増減割合)



資料：国勢調査

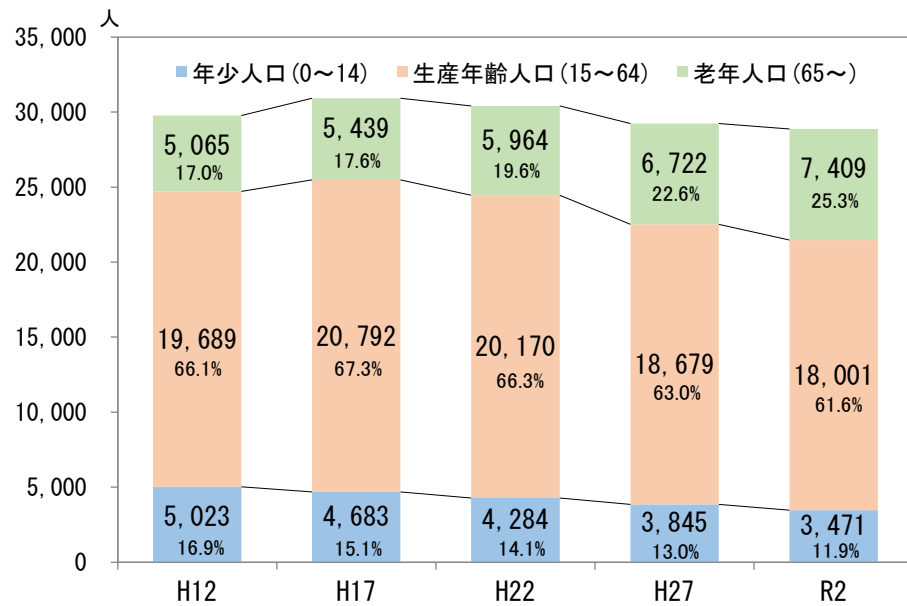
② 年齢階層別人口

年齢3階層別人口の推移については、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向、老年人口（65歳以上）が増加傾向にあります。

平成12年から令和2年の20年で、年少人口が約1,600人、割合にして約30%の減少、老年人口が約2,300人、割合にして約50%の増加となっています。

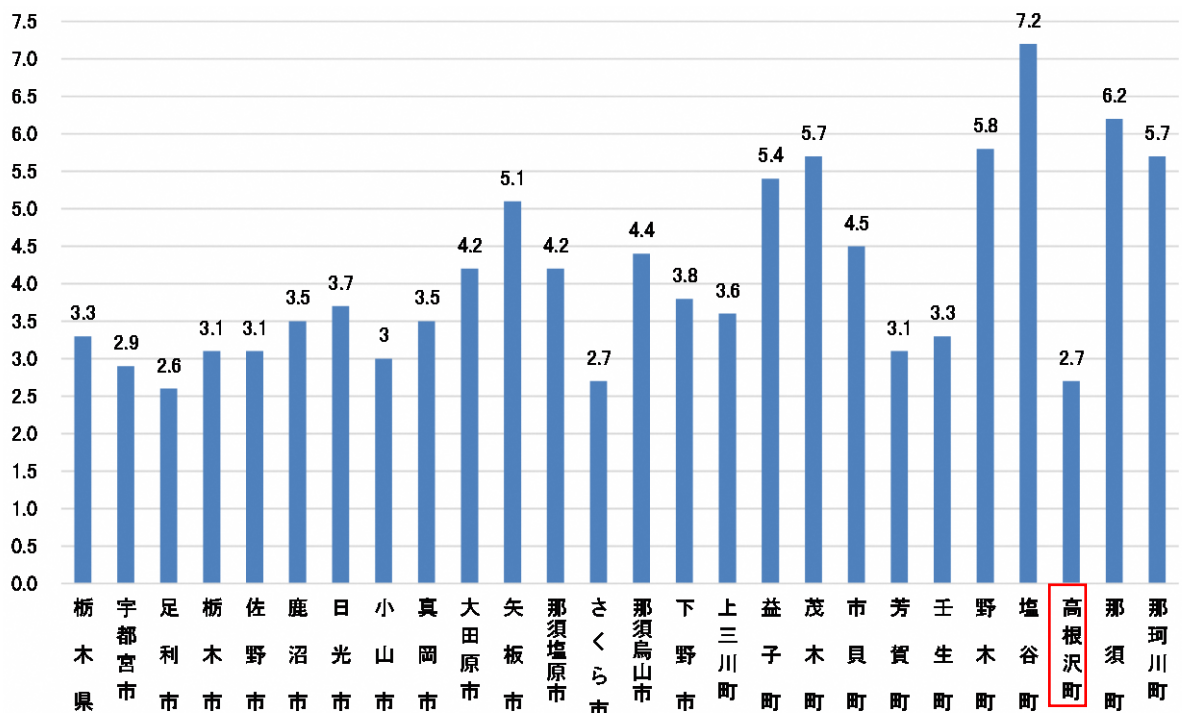
老年人口より高齢化の状況を見ると、平成27年と令和2年の比較では+2.7%となっており、県全体の+3.3%と比べて増加割合は小さく、足利市・さくら市とともに県内でも増加割合が小さい状況です。

グラフ：年齢階層別人口の推移



*前ページの人口(総数)には年齢不詳が含まれるため、年齢階層別人口の合計値とは一致しない。
*構成比は年齢不詳を含めた人口(総数)に対する割合で算出しているため合計が100%にならない場合がある。

グラフ：高齢化参考 (H27⇒R2 増加割合)



資料：国勢調査

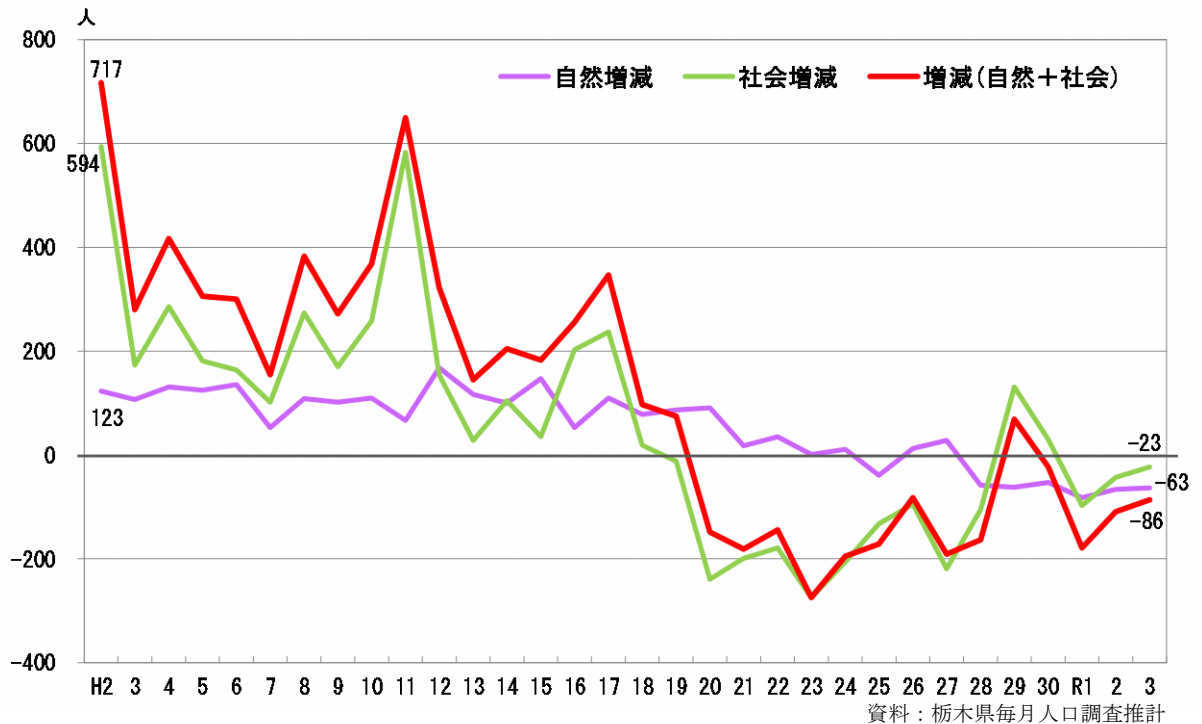
③ 人口動態

人口動態は、平成18年まで自然増・社会増の状態が続き、人口が増加してきましたが、平成19年に社会動態が減少に転じ、全体の増減もこの影響で減少傾向となっていました。

平成25年から一時期自然動態の増加、平成29年には社会動態の増加が見られましたが、全体の減少傾向には大きな変化が見られない状況です。

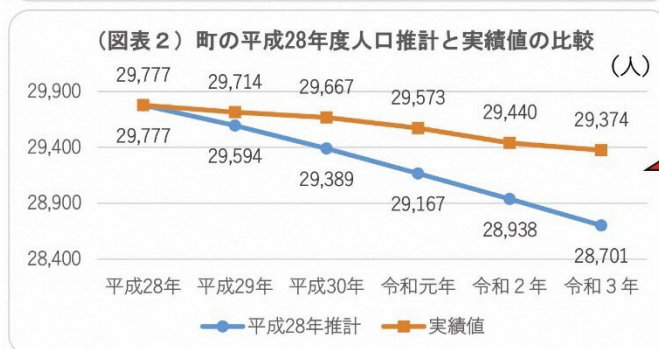
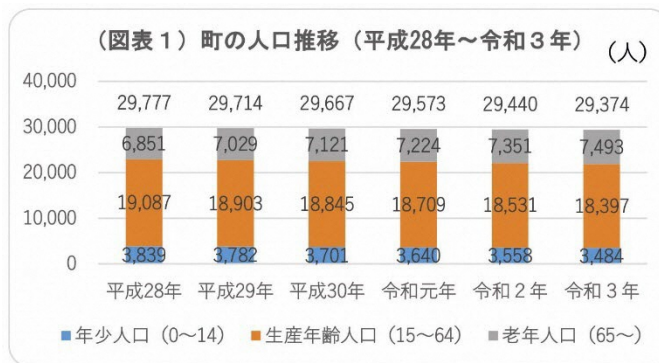
令和元年以降、自然動態、社会動態とも増加傾向を示しており、今後、総合戦略等の重点的な取組の成果が期待されます。

グラフ：人口動態の推移



グラフ：人口動態参考（地域経営計画 2016 より）

地域経営計画2016後期計画においてH28時点の推計値と実績値を比較⇒人口ビジョン・総合戦略における重点取組等により減少割合が抑えられています。



資料：高根沢町住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在）

(3) 産業特性

① 産業別就業者人口の推移

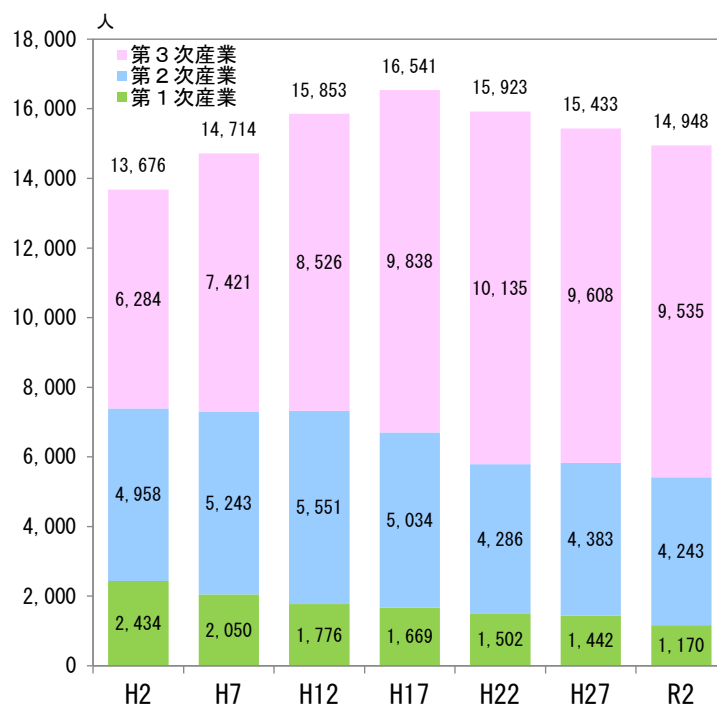
就業者総数は平成17年をピークに、以降、減少傾向に転じています。

産業別では、第1次産業から第2次・第3次産業への移行が進んでいますが、第2次産業は平成12年をピークに減少へと転じています。

平成2年から令和2年の30年で、第1次産業が約1,300人、割合にして約50%（半減）の減少、第2次産業が約700人、割合にして約15%の減少、第3次産業が約3,250人、割合にして約50%の増加となっています。なお、第3次産業のピークは平成22年であり、そこから令和2年では、約600人、割合にして約6%の減少となります。

また、第1次産業については、全体に占める割合が、平成2年の17.8%から令和2年の7.8%と、10%減っている状況です。

グラフ：産業者別就業者人口の推移



資料：国勢調査（常住地ベース）

② 農業

農家戸数は減少傾向にあり、総数が、平成2年から令和2年の30年で、約1,000人、割合にして約48%（半減）の減少となっています。

経営耕地面積についても減少傾向にあり、総面積が、平成2年から令和2年の30年で、約558ha、割合にして約14%の減少となっています。

表：農業関連指標の推移

調査年次	農家戸数（戸）					経営耕地面積（ha）			
	総数	専業農家	自給的農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	総面積	田	畑	樹園地
平成2年	2,150	215	-	453	1,482	3,987	3,681	247	59
—	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成7年	1,993	199	-	441	1,353	3,923	3,623	245	55
前回調査比	-7.3%	-7.4%	-	-2.6%	-8.7%	-1.6%	-1.6%	-0.8%	-6.8%
平成12年	1,861	179	201	279	1,202	3,852	3,600	204	48
前回調査比	-6.6%	-10.1%	-	-36.7%	-11.2%	-1.8%	-0.6%	-16.7%	-12.7%
平成17年	1,695	194	235	344	922	3,680	3,481	157	42
前回調査比	-8.9%	8.4%	16.9%	23.3%	-23.3%	-4.5%	-3.3%	-23.0%	-12.5%
平成22年	1,504	225	240	216	823	3,654	3,453	161	40
前回調査比	-11.3%	16.0%	2.1%	-37.2%	-10.7%	-0.7%	-0.8%	2.5%	-4.8%
平成27年	1,299	243	253	186	617	3,600	3,388	170	42
前回調査比	-13.6%	1.3%	12.4%	-13.9%	-25.0%	-1.5%	-1.9%	5.6%	5.0%
令和2年	1,126	233	893			3,429	3,257	140	32
前回調査比	-13.3%	-4.1%	-15.4%			-4.8%	-3.9%	-17.6%	-23.8%

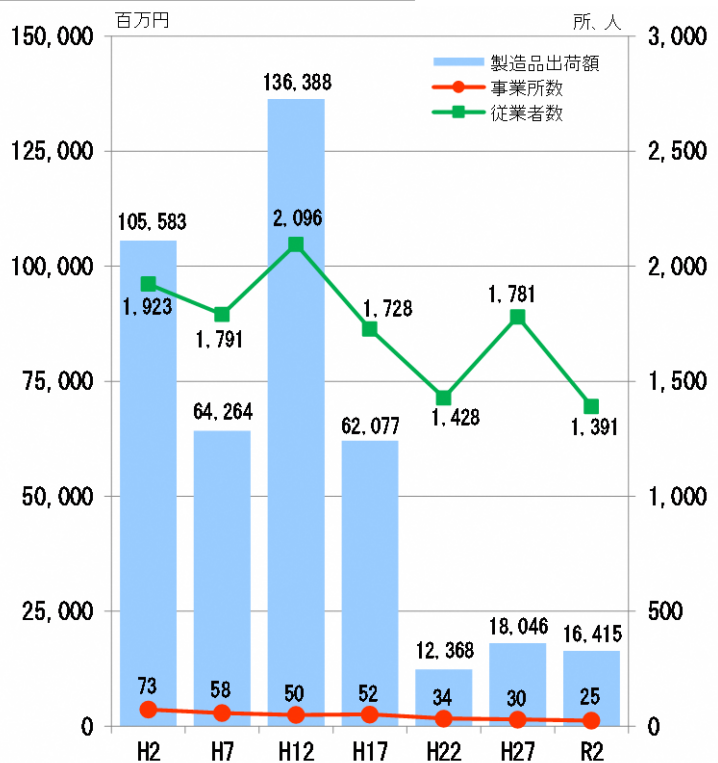
資料：農林業センサス、経済センサス

③ 工業

事業所数は減少傾向にあり、平成2年から令和2年の30年で、48所、割合にして約65%の減少となっています。

従業者数、製造品出荷額は増減を繰り返した動きとなっており、特に、製造品出荷額は平成22年に大きく減少しています（平成22年の大規模工場撤退の影響と見られます）。

グラフ：工業関連指標の推移



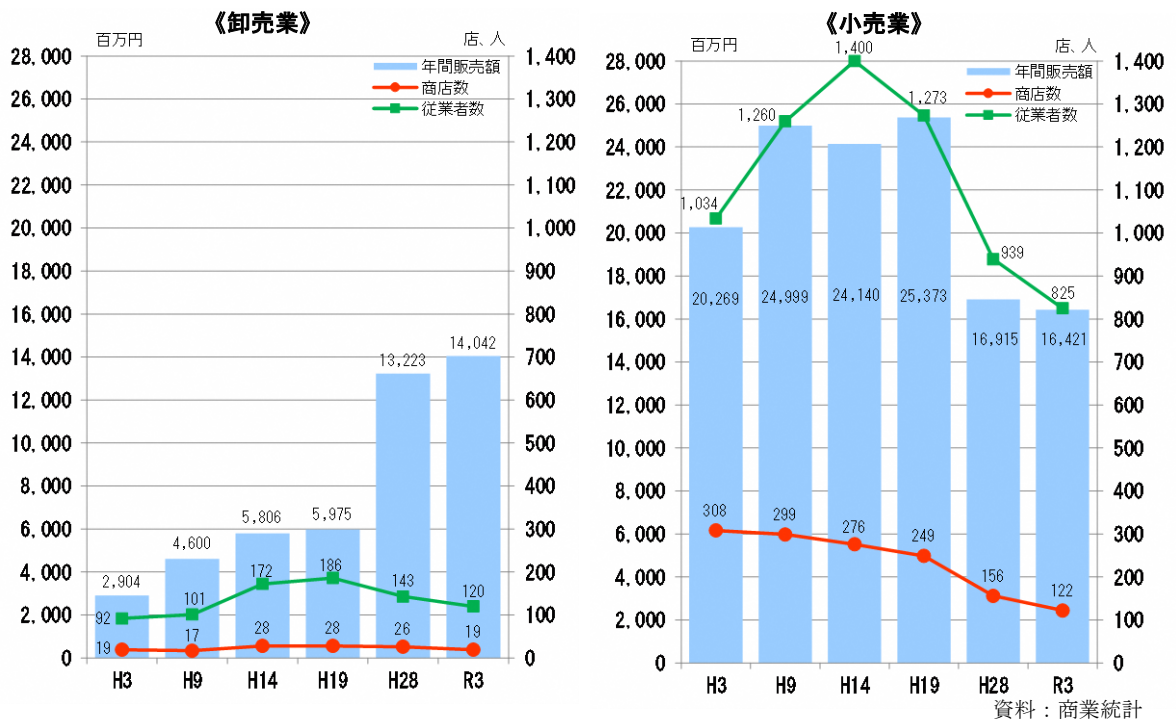
資料：工業統計

④ 商業

卸売業については、店舗数が、平成14年、平成19年には28店でしたが、令和3年には平成3年と同じ19店になっています。従業者数も同様の動きで平成19年には186人まで増加しましたが、令和3年には120人になっています。年間販売額は一貫して増加傾向にあり、平成19年から平成28年にかけては約72億円、割合にして121%（2倍以上）の大きな増加となっています。

小売業については、店舗数が減少傾向にあり、平成3年から令和3年の30年で、186店、割合にして約60%の減少となっています。従業者数は平成14年には1,400人まで増加しましたが、令和3年には825人、平成14年からの割合で約40%の減少となっています。年間販売額は平成19年には約254億円でしたが、平成19年から令和3年にかけては約90億円、割合にして約35%の減少となっています。

グラフ：商業関連指標の推移

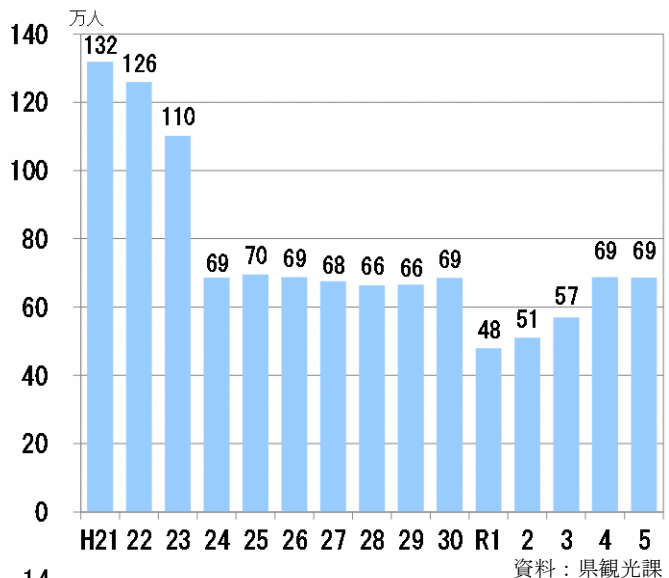


⑤ 観光

町東部に「元気あっぷむら」「観光りんご園」「酪農とちぎふれあい牧場」、町南部に「安住神社」「観光ブドウ園」「御料牧場」「鬼怒グリーンパーク」があり、産業体験・自然体験を主とした観光が展開されています。

観光客入込数は、平成23年の東日本や令和元年以降の新型コロナウイルス等の影響による減少が見られたものの、平成24年以降は概ね年間70万人前後で推移しています。

グラフ：観光客入込数の推移



(4) 土地利用特性

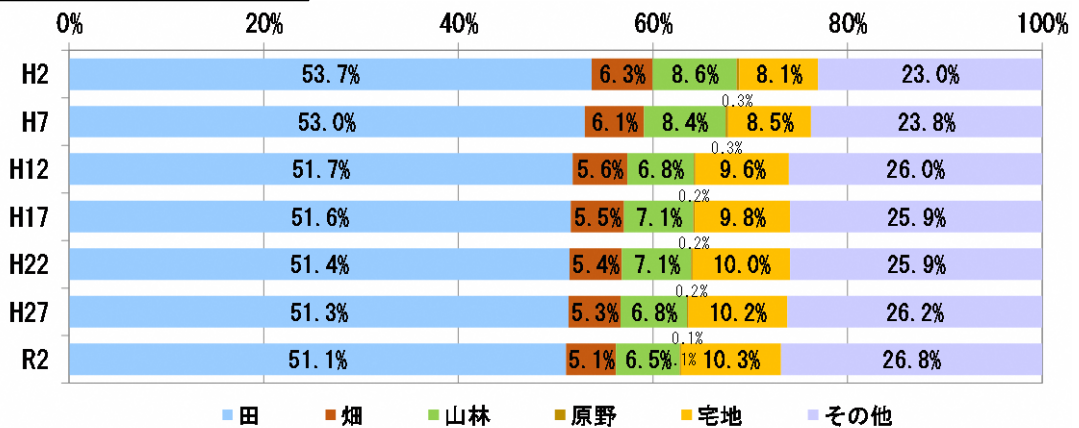
① 土地利用の推移

町域面積は7,087haで、令和2年は、田(51.1%)、畑(5.1%)、山林(6.5%)、原野(0.1%)の自然的土地利用が約63%を占めています。

平成2年から令和2年の30年で、自然的土地利用が約6%の減少、宅地が約27%の増加となっています。

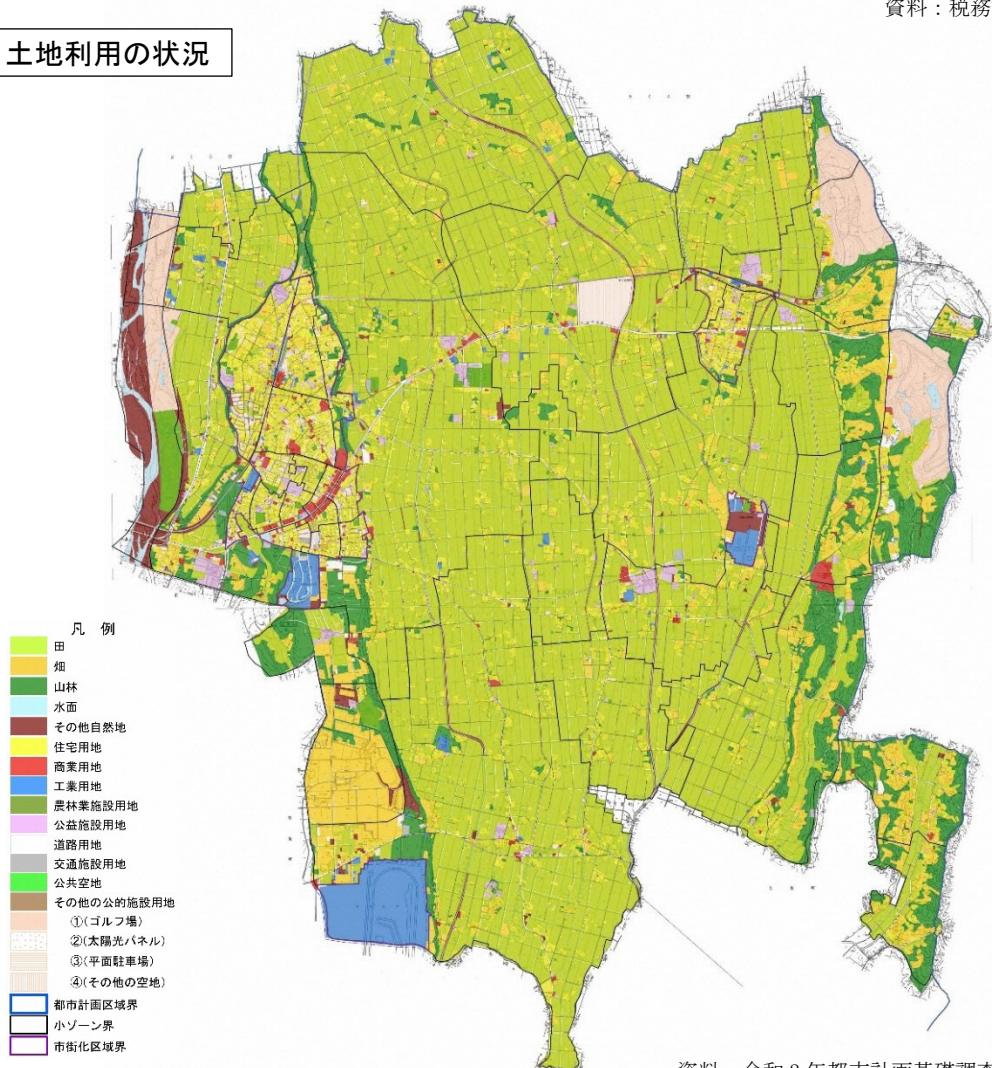
土地利用の構成としては、町域中央部に田を中心とした平坦な土地が広がり、その東西に台地部が形成されています。西部台地には宝積寺地区を中心とした都市的土地利用が見られ、町域西端を流れる鬼怒川周辺に平坦な農地が見られます。

グラフ：土地利用の推移



資料：税務課

図：土地利用の状況



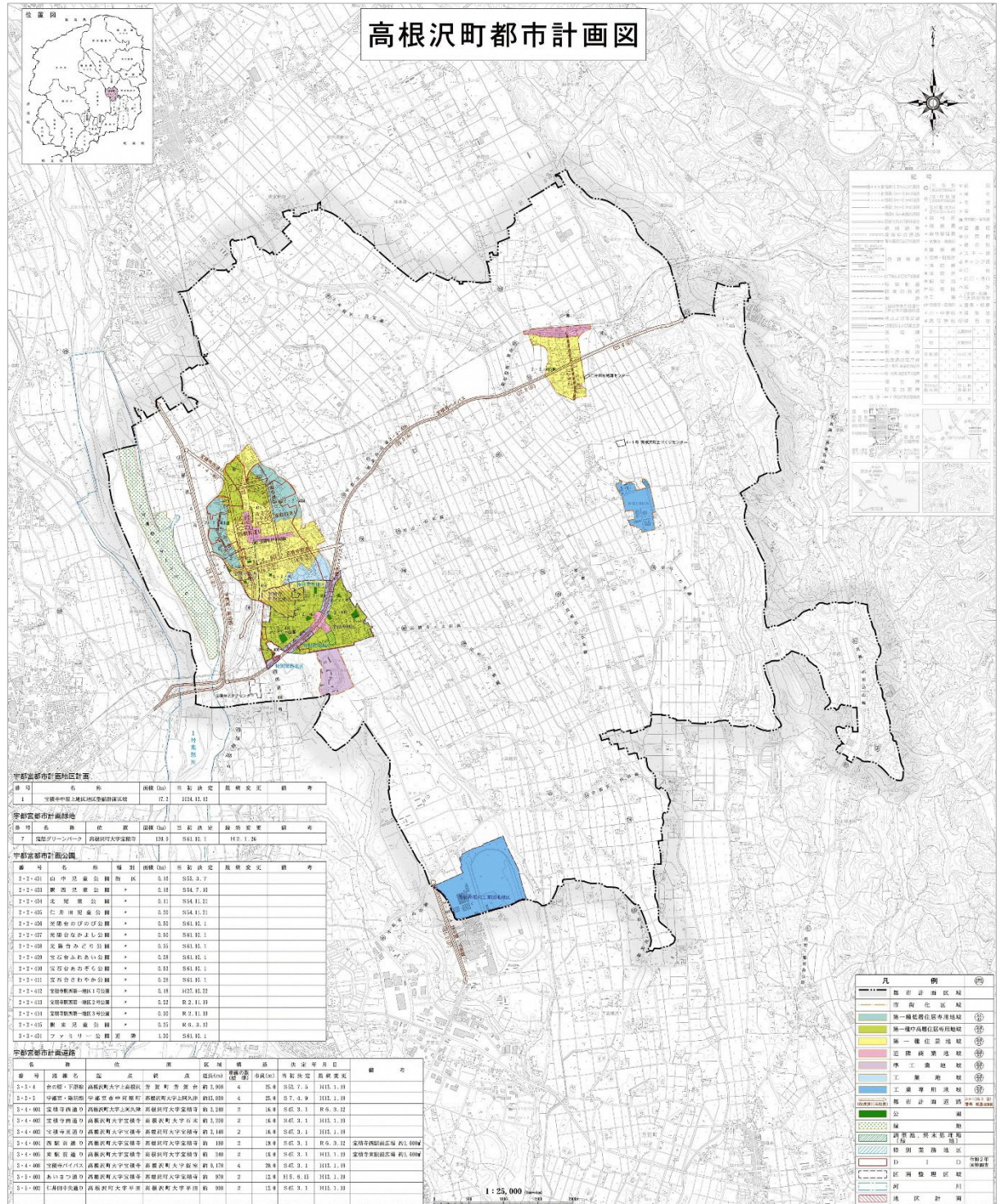
資料：令和2年都市計画基礎調査

② 土地利用規制状況

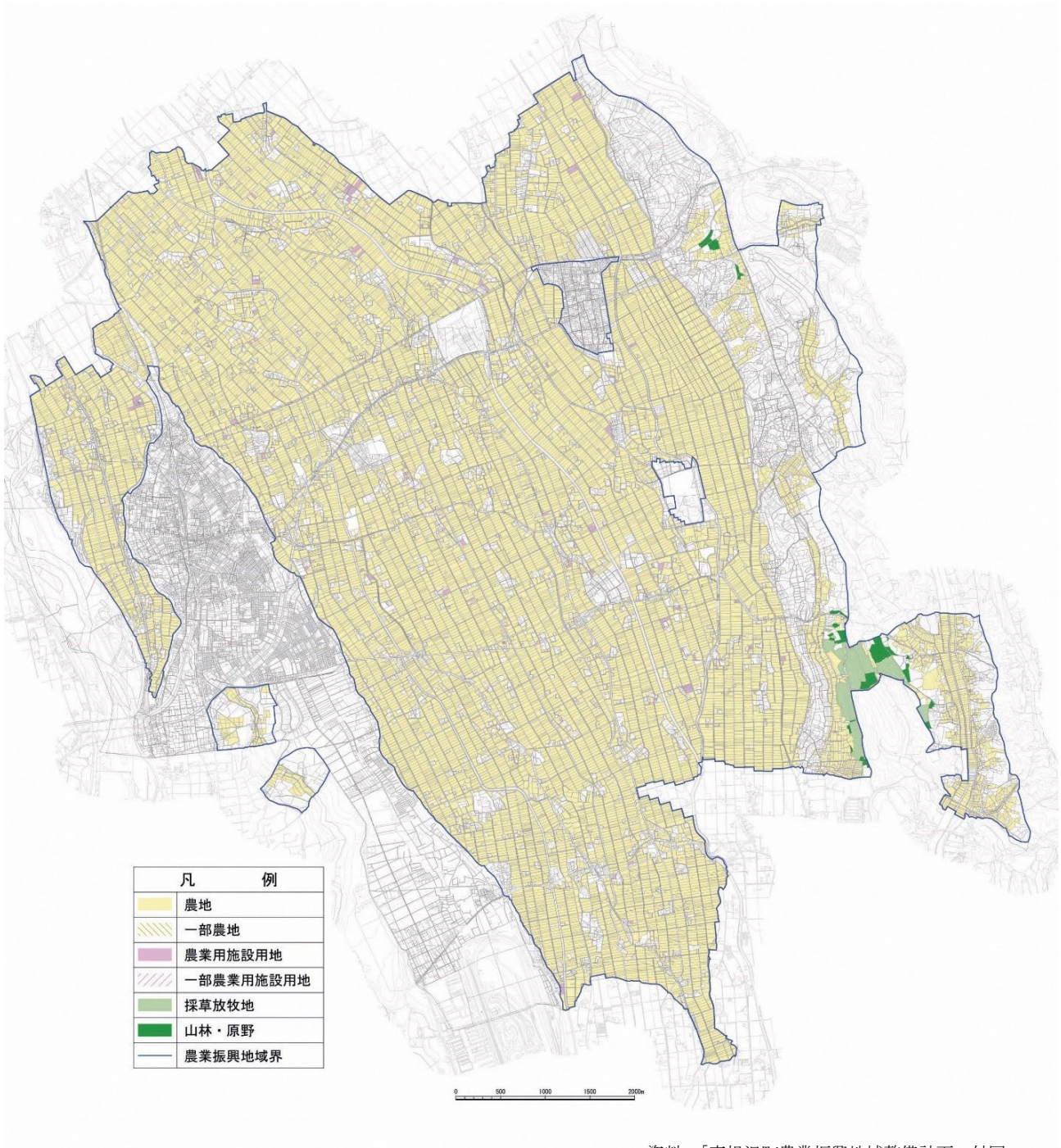
行政区域7,087.0haの全域が、都市計画法に基づく都市計画区域(宇都宮都市計画区域)に含まれ、うち579.3ha(8.2%)が市街化区域に、6,507.7ha(91.8%)が市街化調整区域に指定されています。

市街化調整区域の大半(町西部の御料牧場周辺一帯を除く)が、農振法に基づく農業振興地域に指定されるほか、町西端を流れる鬼怒川の河川敷が、河川法に基づく河川区域に指定されています。

図：都市計画図



図：農業振興地域等



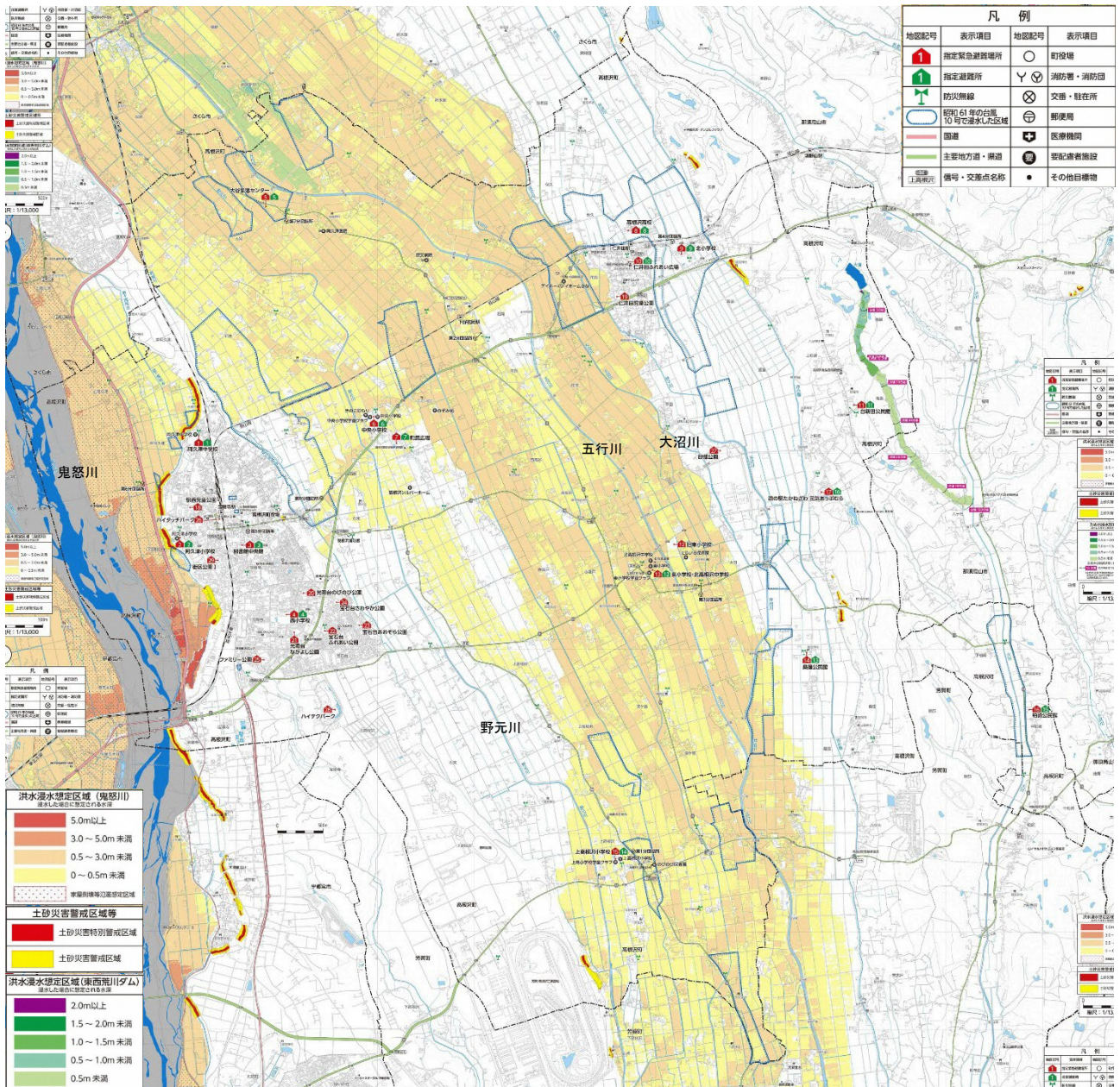
資料：「高根沢町農業振興地域整備計画」付図

③ 防災に係るハザードの状況

水災害については、町域西端の鬼怒川、中央部の五行川、大沼川、野元川沿いに洪水浸水想定区域が指定されています。町域中央部では概ね水深3.0m以下となっていますが、鬼怒川沿いにおいては水深3.0m以上の区域が見られます。

土砂災害については、宝積寺地区西側の傾斜地、町域東部における傾斜地に、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別計画区域が指定されています。

図：ハザード指定等の状況



資料：高根沢町防災ハザードマップ

(5) 交通特性

① 道路交通

東京方面と県北及び東北方面を結ぶ広域的な幹線である国道4号が町の西側を南北に縦断し、主要地方道宇都宮那須烏山線（宝積寺バイパス）が国道4号から宝積寺地区、仁井田地区を通り、那須烏山市方面へとネットワークしています。

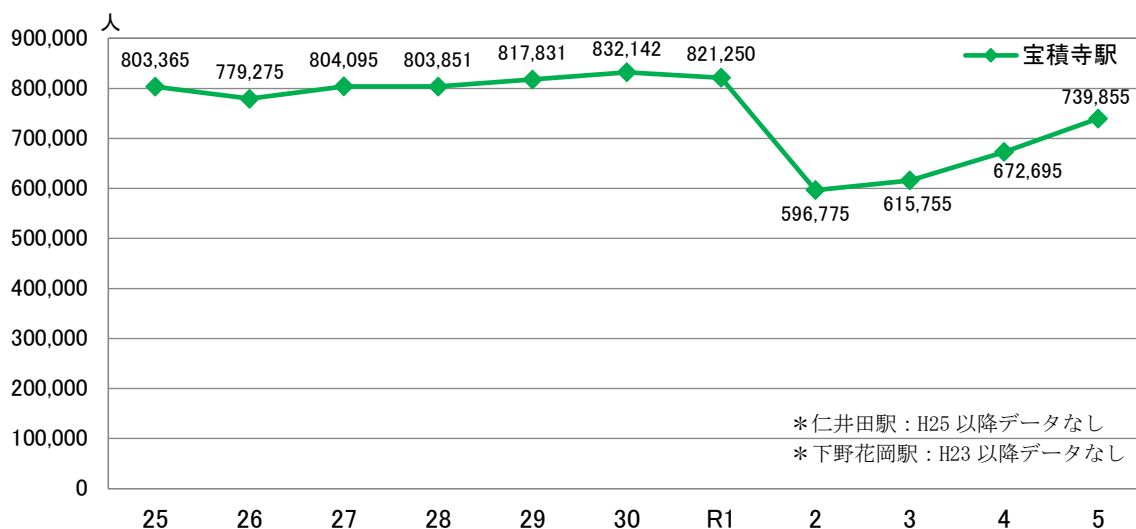
この2路線を軸に、県道や主要な町道による道路網が形成されています。

② 鉄道

国道4号と並行してJR宇都宮線が、主要地方道宇都宮那須烏山線に並行してJR烏山線が通っており、宝積寺・下野花岡・仁井田の3駅が設置されています。

年間乗車人員の推移を見ると、宝積寺駅は年間80万人前後で増減を繰り返しながら緩やかな増加傾向を示していましたが、令和元年から令和2年にかけては大きく減少しました（新型コロナウイルスの影響と見られます）。その後は回復傾向にあり、令和5年は約74万人となっています。

グラフ：年間乗車人員の推移



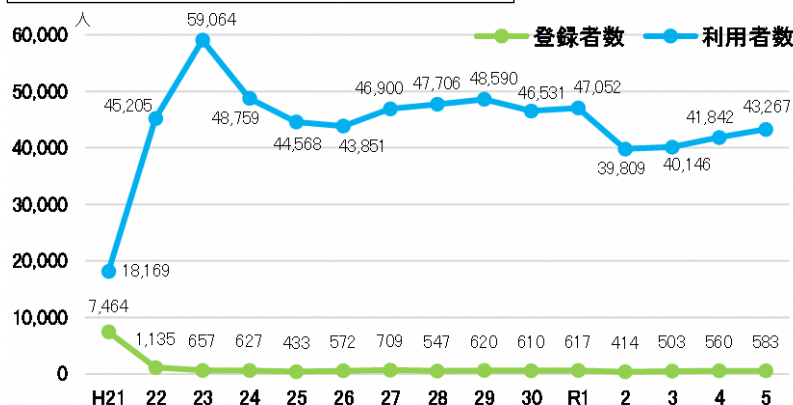
資料：栃木県統計年鑑

③ 公共交通

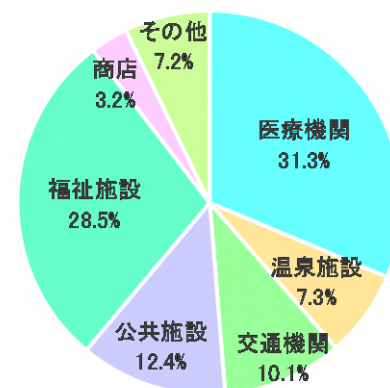
鉄道及び町営デマンド交通「たんたん号」により町域全体をカバーしています。

たんたん号の利用者は年間概ね4万人台で推移し、利用目的は医療機関や福祉施設が多くなっています。

グラフ：登録者数・利用者数の推移



グラフ：利用目的別割合



資料：町地域安全課

(6) 都市計画・都市整備等の状況

① 区域区分・用途地域

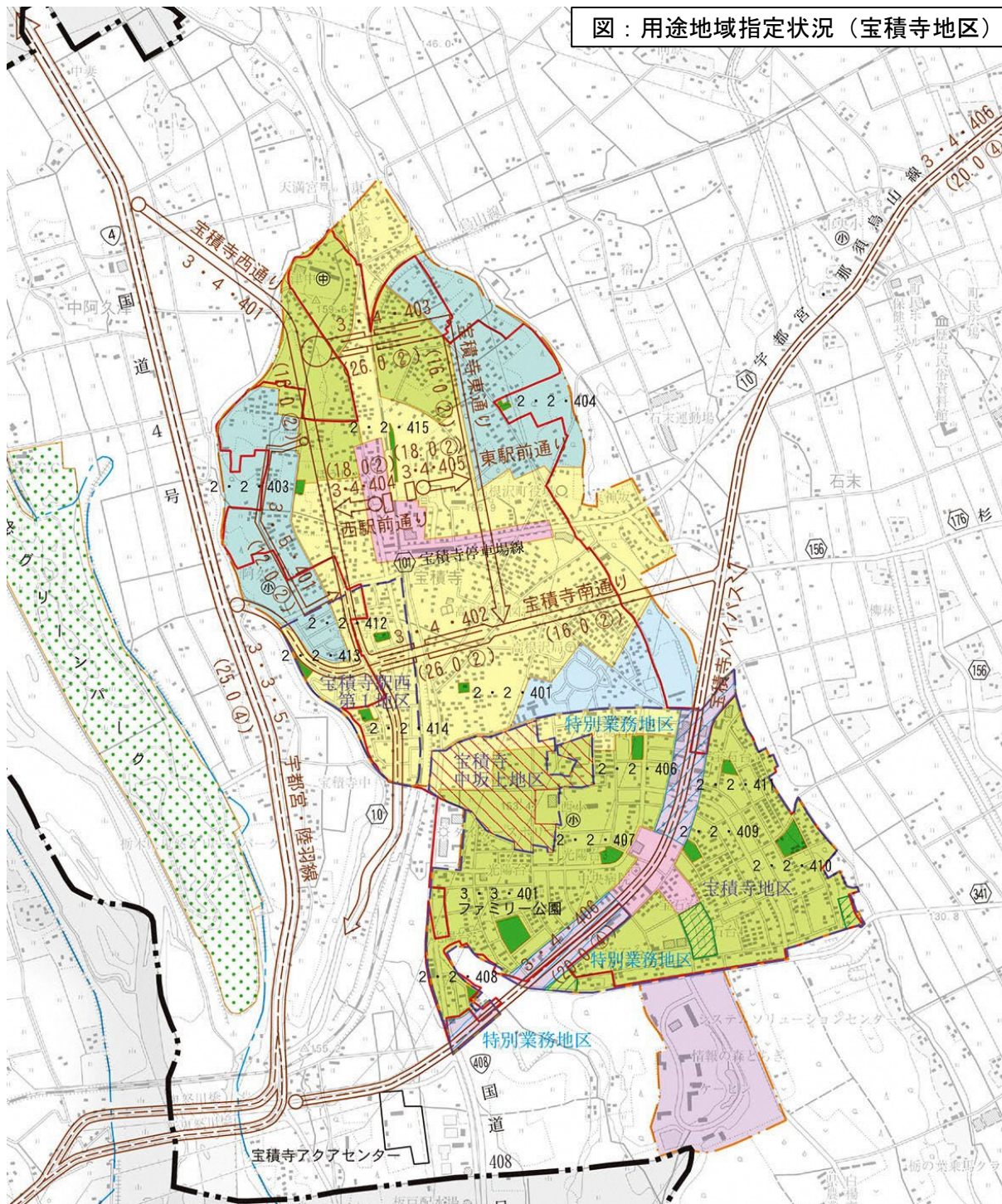
市街化区域内の用途地域指定状況は、住居系地域が64.7%、工業系地域が30.6%、商業系地域が4.7%となっています。

宝積寺、仁井田の既成市街地周辺において住居系・商業系用途地域が、砂部、芳賀・高根沢の工業団地において工業系用途地域が指定されています。

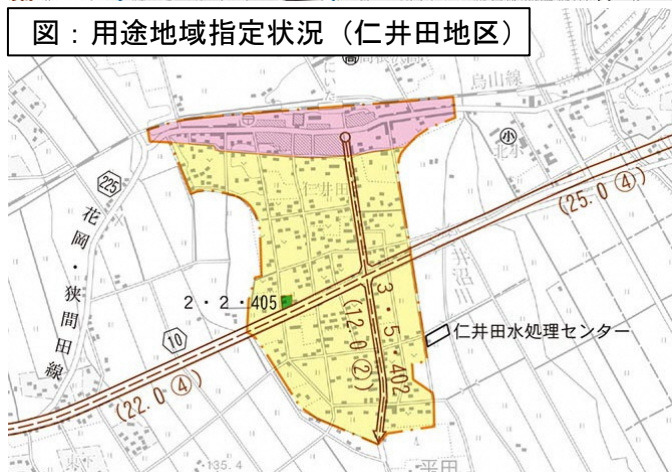
表：地域地区の状況

区 分	面 積	行政区域に 対する割合	市街化区域に 対する割合
行政区域（都市計画区域）	7,087.0 ha	100.0%	-
市街化区域	579.3 ha	8.2%	-
住居系地域	374.8 ha	5.3%	64.7%
第一種低層住居専用地域	52.3 ha	0.7%	9.0%
第一種中高層住居専用地域	138.5 ha	2.0%	23.9%
第一種住居地域	184.0 ha	2.6%	31.8%
工業系地域	177.2 ha	2.5%	30.6%
工業専用地域	123.0 ha	1.7%	21.2%
工業地域	15.0 ha	0.2%	2.6%
準工業地域	39.2 ha	0.6%	6.8%
商業系地域	27.3 ha	0.4%	4.7%
近隣商業地域	27.3 ha	0.4%	4.7%
市街化調整区域	6,507.7 ha	91.8%	-

図：用途地域指定状況（宝積寺地区）



図：用途地域指定状況（仁井田地区）



凡	例	図
---	都市計画区域	(10)
---	市街化区域	(10)
■	第一種低層住居専用地域	(10)
■	第一種中高層住居専用地域	(10)
■	第一種住居地域	(10)
■	近隣商業地域	(10)
■	準工業地域	(10)
■	工業地域	(10)
■	工業専用地域	(10)
■	都市計画道路	3-4-115.8 (2)
■	公園	■
■	緑地	■
■	調整池、終末処理場(緑)	■
■	特別業務地区	■
■	D I D	令和2年国勢調査
---	区画整理区域	---
---	河川	---
---	地区計画	---

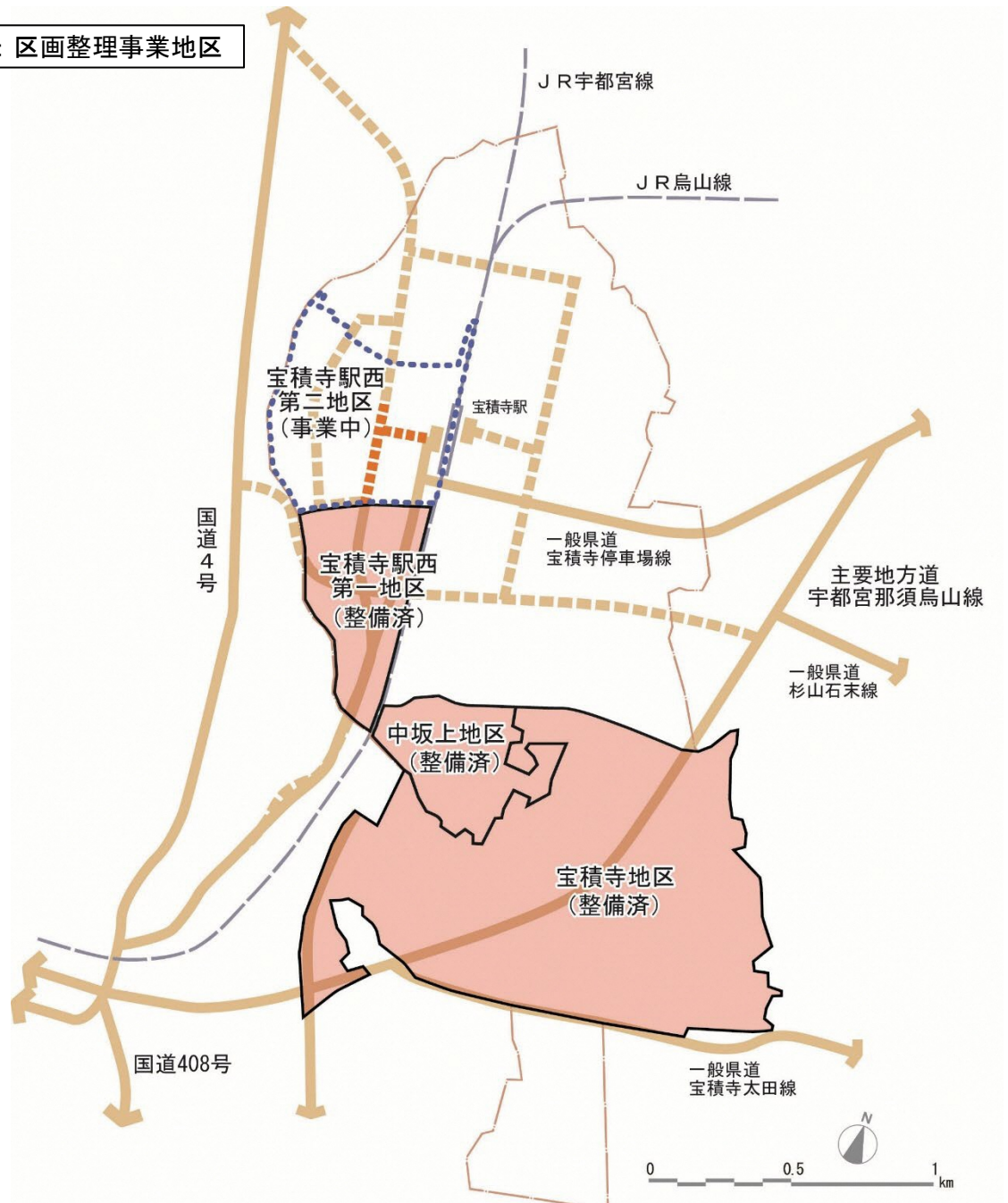
② 面的整備事業

面的整備としては、宝積寺旧市街地の南側に隣接する新市街地（光陽台・宝石台・中坂上地区）として、宝積寺土地区画整理事業及び中坂上土地区画整理事業が完了しており、宝積寺旧市街地内の良好な居住環境形成を目的とする宝積寺駅西第一土地区画整理事業についても完了しています。

表：区画整理事業等の状況

事業種別	名称	面積	事業主体	備考
土地区画整理事業	宝積寺土地区画整理事業	117.7ha	宝積寺土地区画整理組合	整備済
	宝積寺駅西第一	23.3 ha	高根沢町	整備済
	宝積寺中坂上	18.5 ha	宝積寺中坂上土地区画整理組合	整備済
沿道街路整備事業	宝積寺駅西第二	—	高根沢町	事業中

図：区画整理事業地区



③ 都市計画道路

幹線街路8路線、補助幹線街路2路線が都市計画決定されています。

このうち、台の原下原線、宇都宮陸羽線が改良済となっているほか、仁井田市街地における仁井田中央通りが整備済となっています。

また、宝積寺駅西第一地区内の宝積寺西通り、宝積寺南通りについては整備が完了しています。現在、宝積寺駅西第二地区内の宝積寺西通り、西駅前通りの整備を行っております。

表：都市計画道路の状況

番号	名称 路線名	位置		区域 延長 (m)	事業主体		決定年月日		備考
		起点	終点		車線数 (標準)	幅員 (m)	当初決定	最終変更	
3・3・4	台の原・下原線	高根沢町大字上高根沢	芳賀町芳賀台	約 2,900	4	25.0	S52.7.5	H13.1.19	
3・3・5	宇都宮・陸羽線	宇都宮市中河原町	高根沢町大字上阿久津	約15,030	4	25.0	S7.4.9	H13.1.19	
3・4・401	宝積寺西通り	高根沢町大字上阿久津	高根沢町大字宝積寺	約 3,240	2	16.0	S47.3.1	R6.3.12	
3・4・402	宝積寺南通り	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字石末	約 2,200	2	16.0	S47.3.1	H13.1.19	
3・4・403	宝積寺東通り	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字宝積寺	約 2,140	2	16.0	S47.3.1	H13.1.19	
3・4・404	西駅前通り	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字宝積寺	約 180	2	19.0	S47.3.1	R6.3.12	*1
3・4・405	東駅前通り	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字宝積寺	約 240	2	18.0	S47.3.1	H13.1.19	*2
3・4・406	宝積寺バイパス	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字飯室	約 9,170	4	20.0	S47.3.1	H13.1.19	
3・5・401	あいさつ通り	高根沢町大字宝積寺	高根沢町大字宝積寺	約 970	2	12.0	H5.6.15	H13.1.19	
3・5・402	仁井田中央通り	高根沢町大字平田	高根沢町大字平田	約 990	2	12.0	S47.3.1	H13.1.19	

*1：宝積寺西駅前広場 約 1,600 m²

*2：宝積寺東駅前広場 約 1,600 m²

図：都市計画道路の整備状況



④ 都市公園

本町においては、都市計画緑地 1 箇所（鬼怒グリーンパーク）、近隣公園 1 箇所、街区公園 14 箇所が都市計画決定されています。

このうち、街区公園の 5 箇所が未整備となっています。

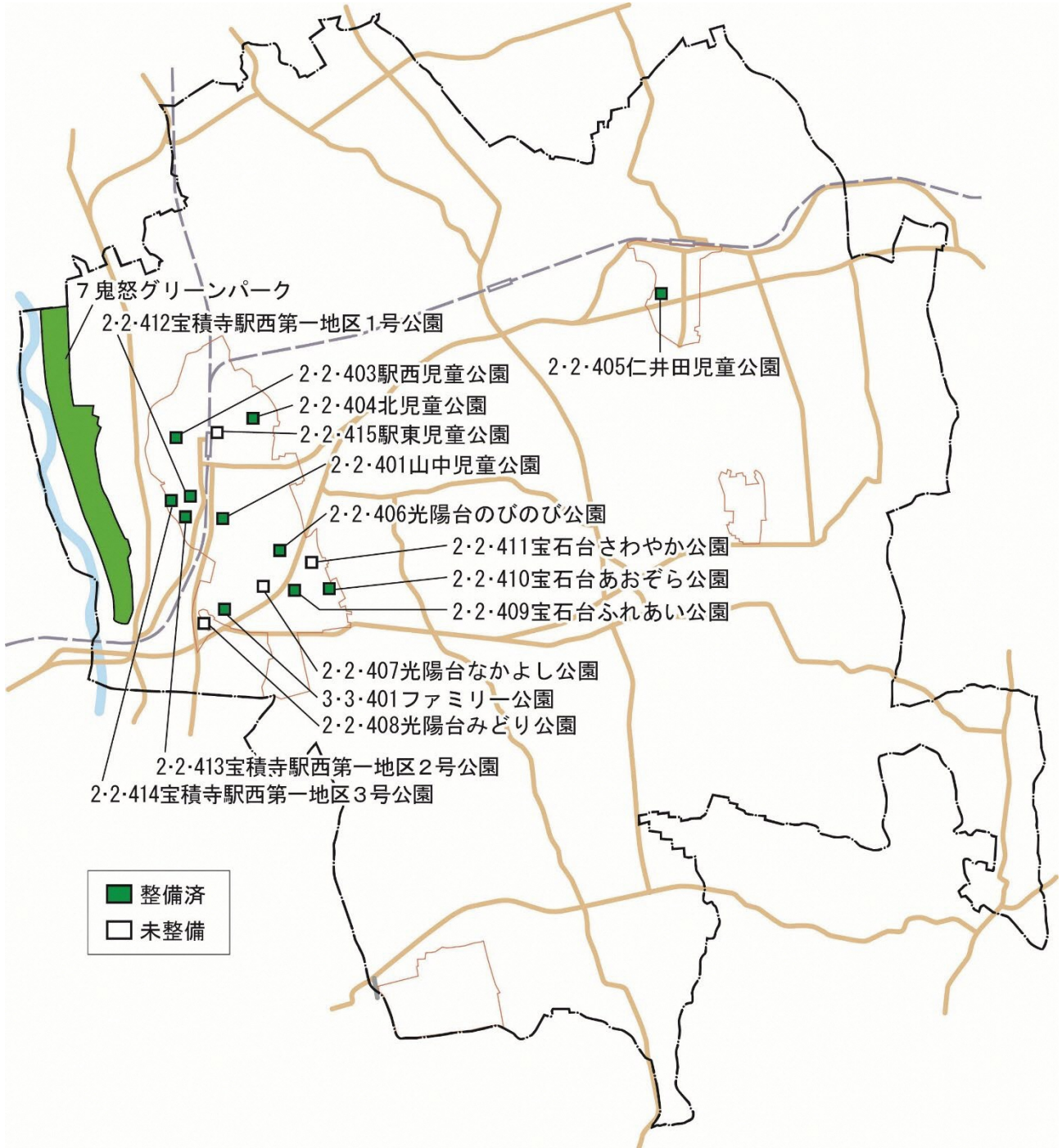
表：都市計画緑地の状況

番号	名称	位置	面積(ha)	当初決定	最終変更	備考
7	鬼怒グリーンパーク	高根沢町宝積寺	139.9	S61.10.1	H2.1.26	

表：都市計画公園の状況

番号	種別及び名称		決定年月日			備考
	名称	種別	面積(ha)	当初決定	最終変更	
2・2・401	山中児童公園	街区	0.16	S53.3.7		
2・2・403	駅西児童公園	〃	0.16	S54.7.10		
2・2・404	北児童公園	〃	0.11	S54.11.21		
2・2・405	仁井田児童公園	〃	0.20	S54.11.21		
2・2・406	光陽台のびのび公園	〃	0.50	S61.10.1		
2・2・407	光陽台なかよし公園	〃	0.50	S61.10.1		
2・2・408	光陽台みどり公園	〃	0.35	S61.10.1		
2・2・409	宝石台ふれあい公園	〃	0.38	S61.10.1		
2・2・410	宝石台あおぞら公園	〃	0.53	S61.10.1		
2・2・411	宝石台さわやか公園	〃	0.28	S61.10.1		
2・2・412	宝積寺駅西第一地区1号公園	〃	0.18	H27.10.22		
2・2・413	宝積寺駅西第一地区2号公園	〃	0.22	R2.11.19		
2・2・414	宝積寺駅西第一地区3号公園	〃	0.30	R2.11.19		
2・2・415	駅東児童公園	〃	0.25	R6.3.12		
3・3・401	ファミリー公園	近隣	1.30	S61.10.1		

図：都市公園の整備状況



(7) 景観資源等の状況

① 景観形成における資源

本町の空間構造を形成する、広々とした田園風景や点在する集落、丘陵地帯の豊かな緑、鬼怒川等のうるおいのある水辺空間を基調としながら、とちぎの景勝100選に選ばれている御料牧場、農林水産省の疎水百選に選ばれているおだきさん、鬼怒グリーンパークなどの自然的な景観、宝積寺駅東口のちよつ蔵広場、歴史民俗資料館などの都市的な景観が点在しています。

図：主な景観資源

出典：『高根沢町景観計画』



② 歴史的・文化的資源

都と奥州を結ぶ交通の要衝として古くから人が住み、農耕を中心とした集落が形成されてきた本町においては、五穀豊穰を祈願・感謝する祭りなど、農業に関わる伝統的な民俗文化が伝承されています。

近年においては、たんたん祭り、マラソン大会、ポタリングイベント、ローカルグルメなど、町民が参加し楽しむことができるイベント等も盛りあがりを見せています。

地域の歴史的な資産としては、千年を越える歴史を持つ安住神社や、江戸時代からの歴史を有する「宇津の秘薬」救命丸などが挙げられます。

4 まちづくりに関するアンケート調査結果

(1) 調査の概要

町民等の意向を反映した内容とするため、町民・就業者・高校生を対象にアンケート調査を実施しました。

アンケートでは、町に対する居住意向とその理由、買い物や身近な施設の利用などの生活環境に関する満足度と重要度、生活に関する行動範囲やその際の移動手段、まちの将来イメージなど、まちづくりに関することについて質問をしました。

就業者には住みやすさと働きやすさ、町に対する居住意向とその理由、高校生にも居住意向とその理由などについて調査を行いました。

調査の概要は以下の通りです。

① 町民アンケート調査

調査対象者：高根沢町在住の18歳以上の町民2,000人（無作為抽出）

調査方法：郵送配布、郵送回収、Web回答

調査期間：令和6年8月6日～令和6年10月7日

回収数：788票（回収率 39.4%）

② 就業者アンケート調査

調査対象者：高根沢町の企業に勤めている方

調査方法：企業を通じた配布回収

調査期間：令和6年8月～9月

回収数：233票

③ 高校生アンケート調査

調査対象者：高根沢高校に通う2年生・3年生

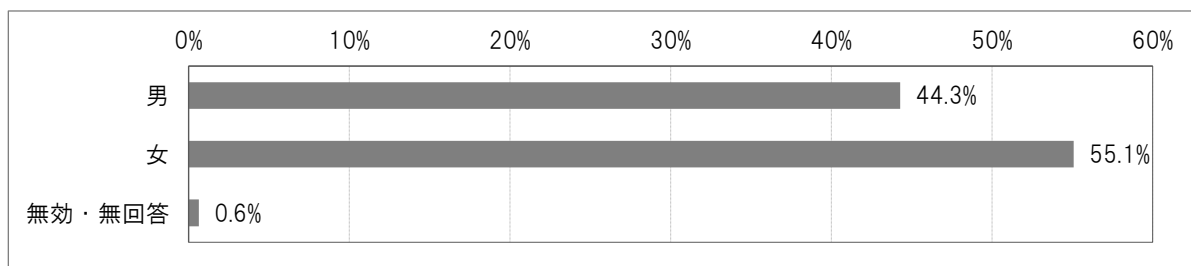
調査方法：高校を通じた配布回収

調査期間：令和6年8月～9月

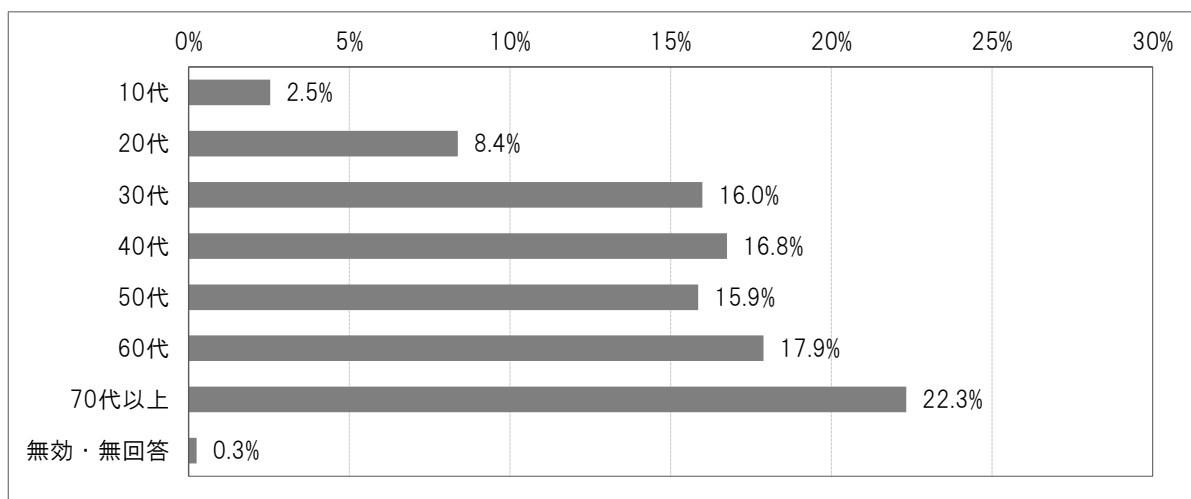
回収数：259票

(2) 町民アンケート調査結果

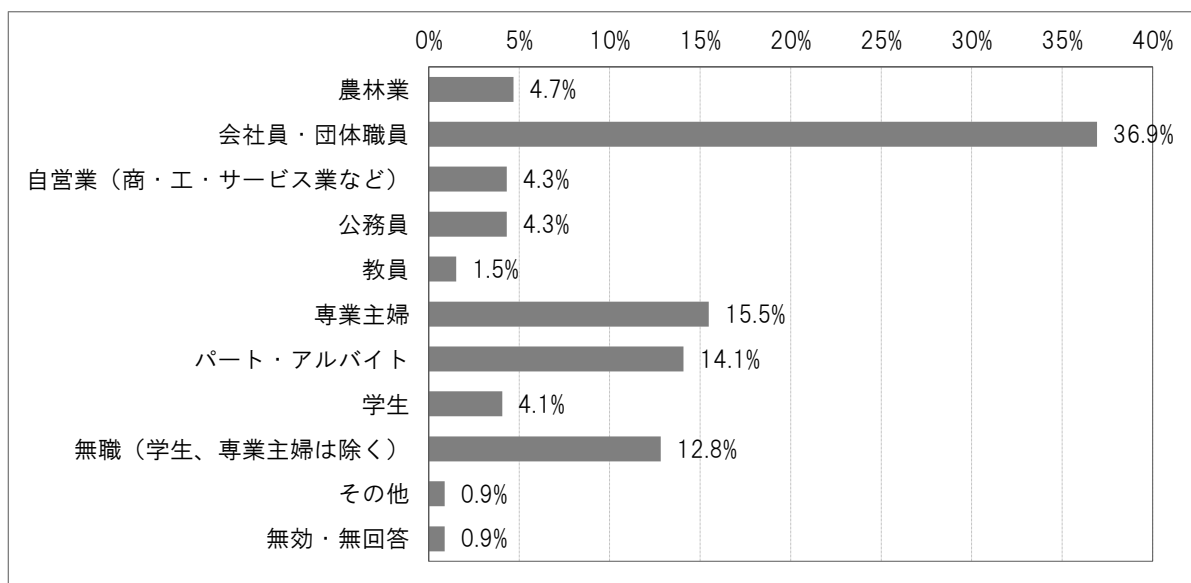
問1 あなたの性別



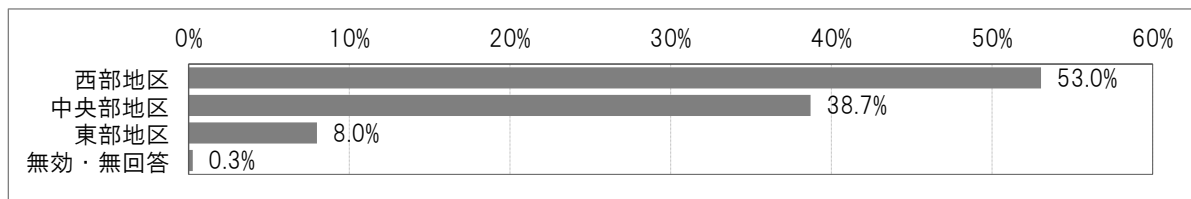
問2 あなたの年齢



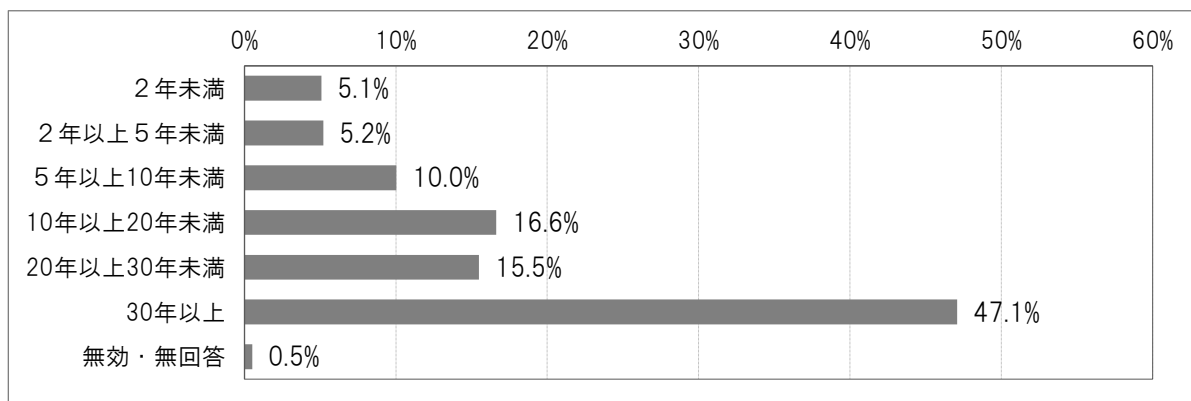
問3 あなたの職業は何ですか



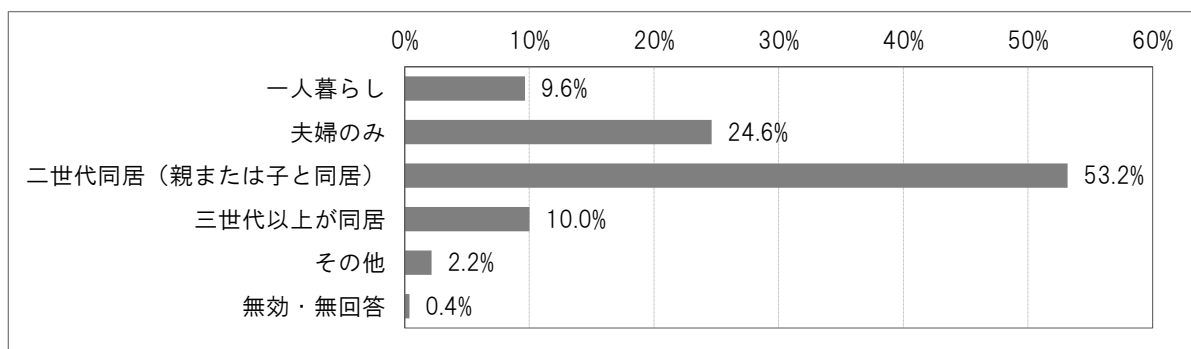
問4 あなたがお住まいの地域



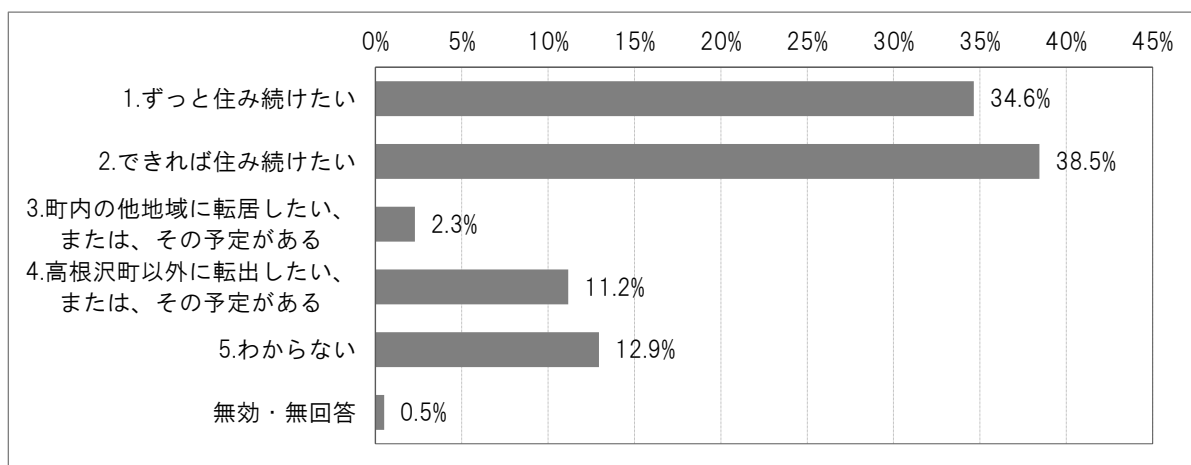
問5 あなたは現在の地域にお住まいになって何年になりますか。



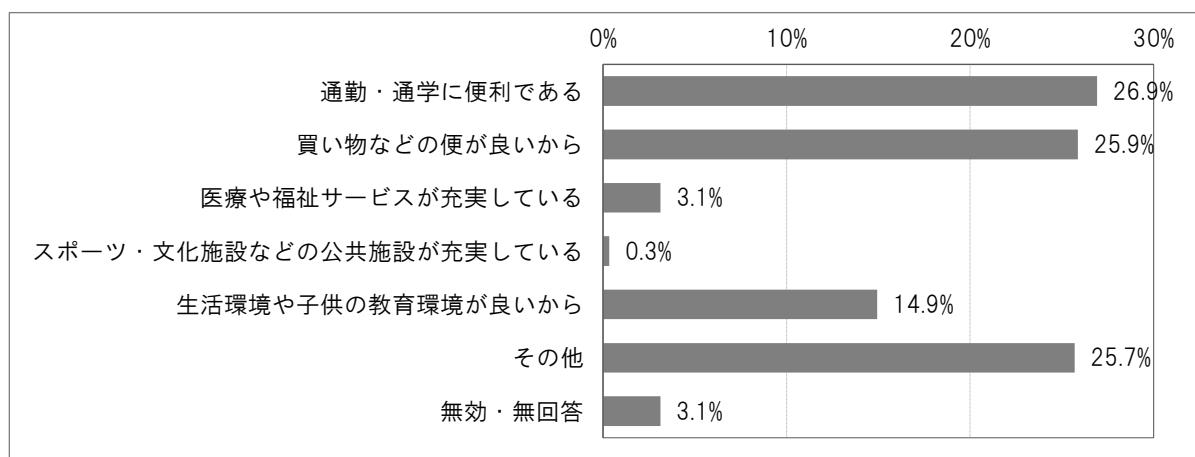
問6 あなたが現在同居しているご家族を教えてください。



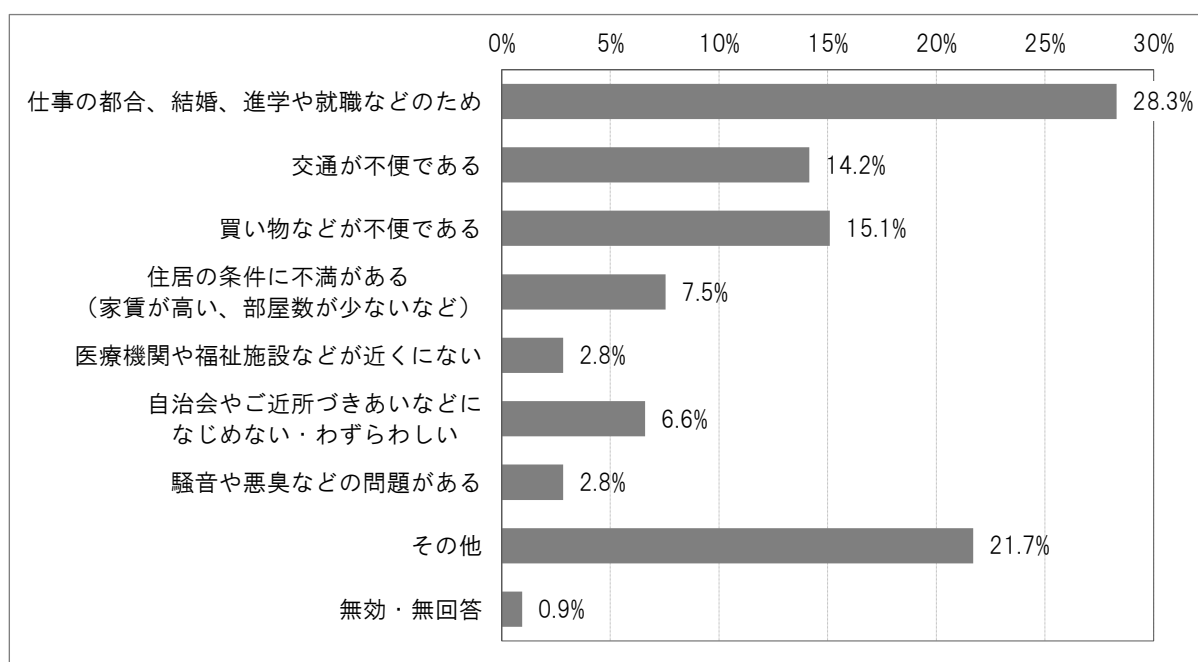
問7 あなたは現在の地域に住み続けたいと思いますか。



問7 - 1 問7で『1』、『2』を選ばれた方にお伺いします。現在お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。

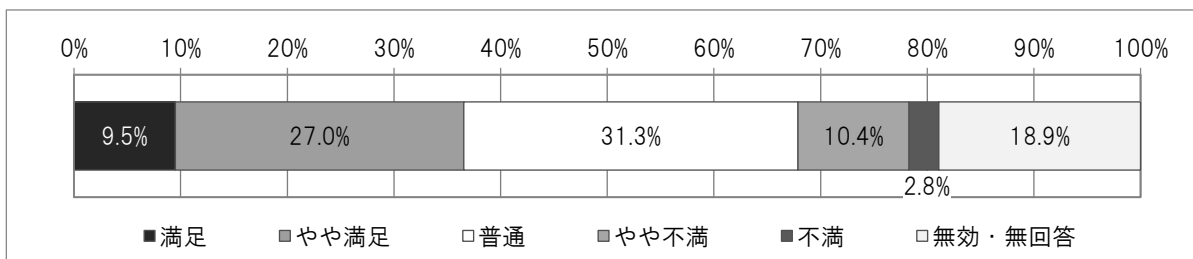


問7 - 2 問7で『3』、『4』を選ばれた方にお伺いします。現在お住まいの地域から転居したい（予定がある）と思う理由は何ですか。

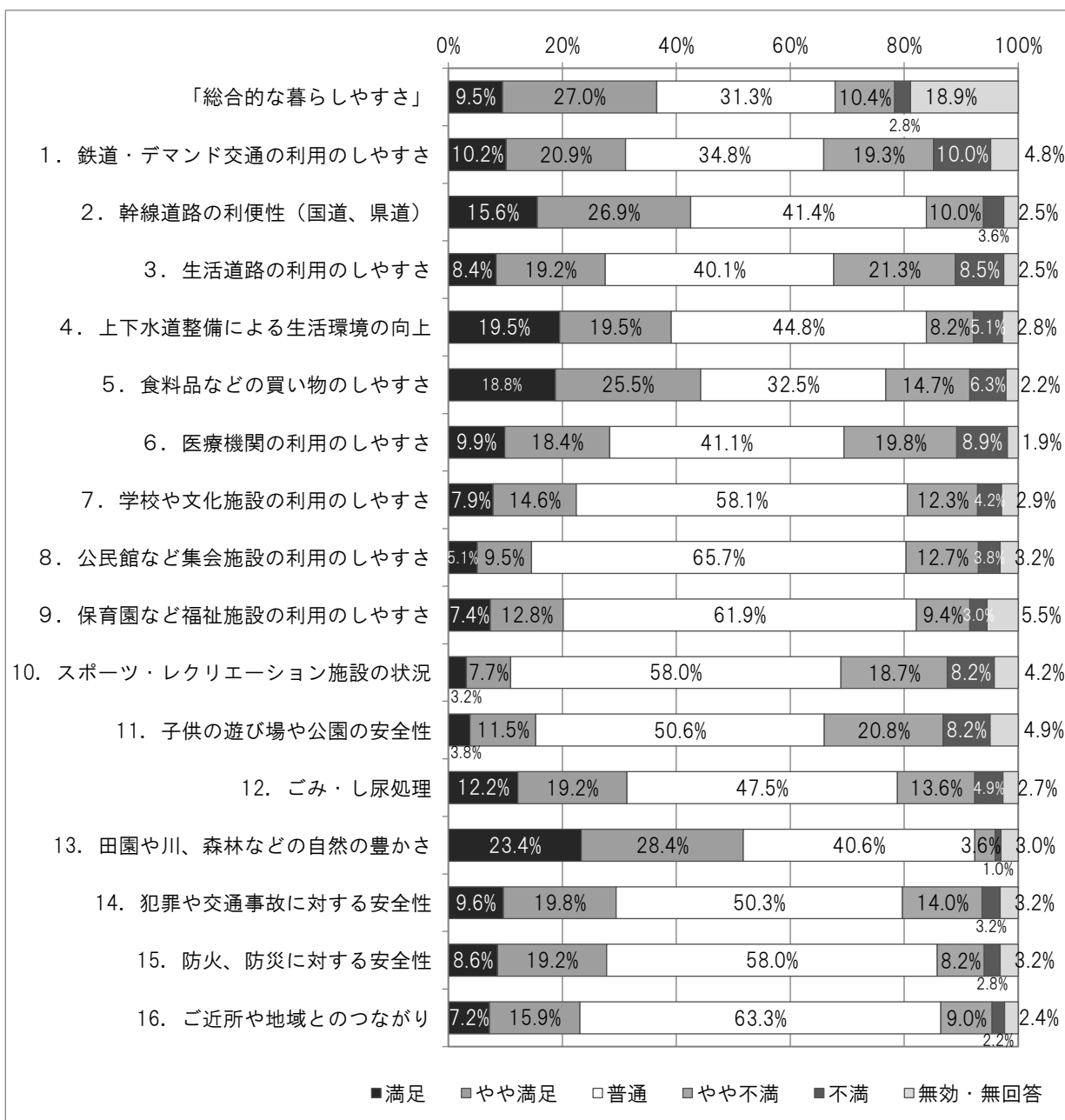


問8 現在住んでいる地域の項目別満足度（5段階）と重要度（3段階）を教えてください。

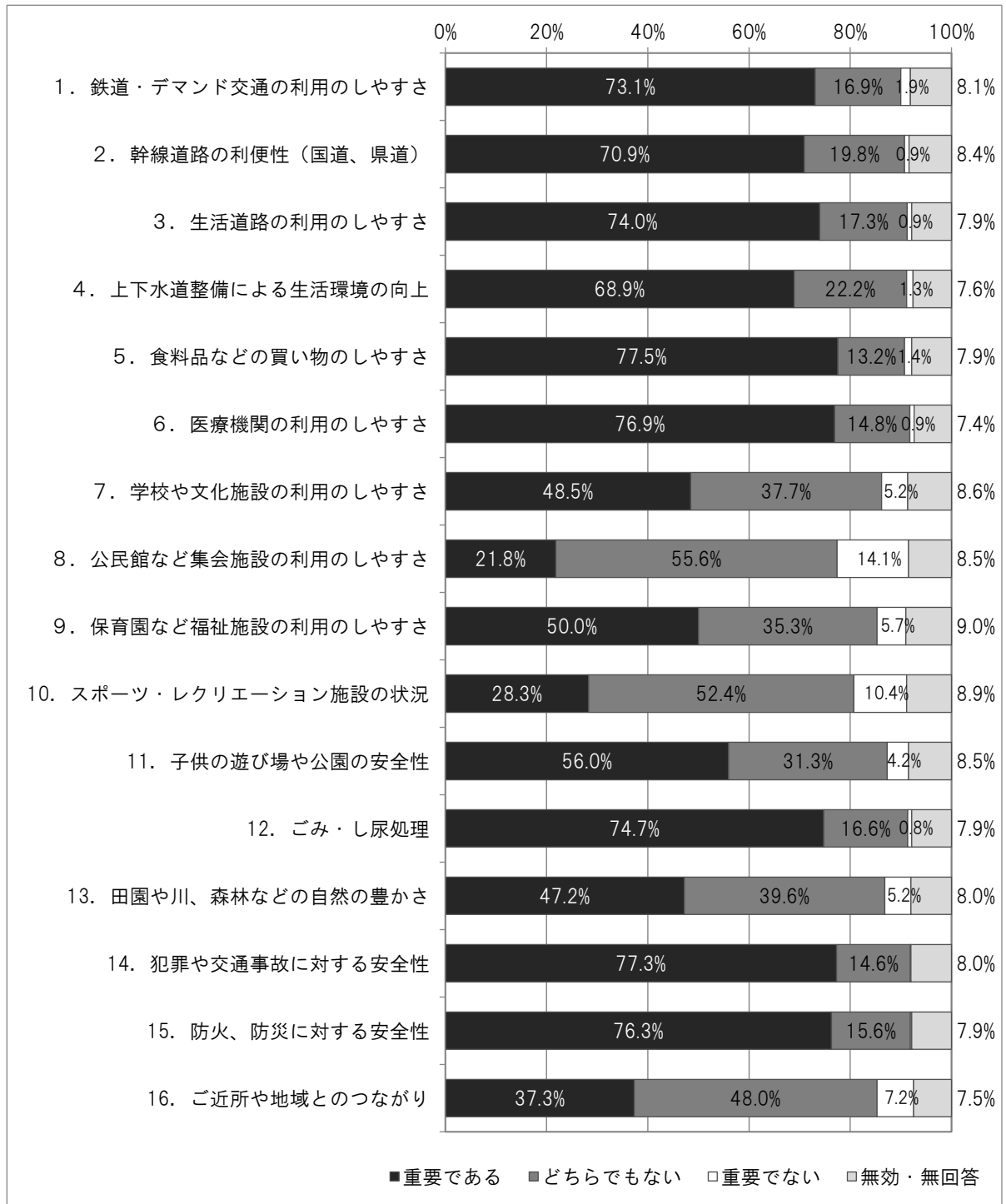
《総合的にみた暮らしやすさの評価》



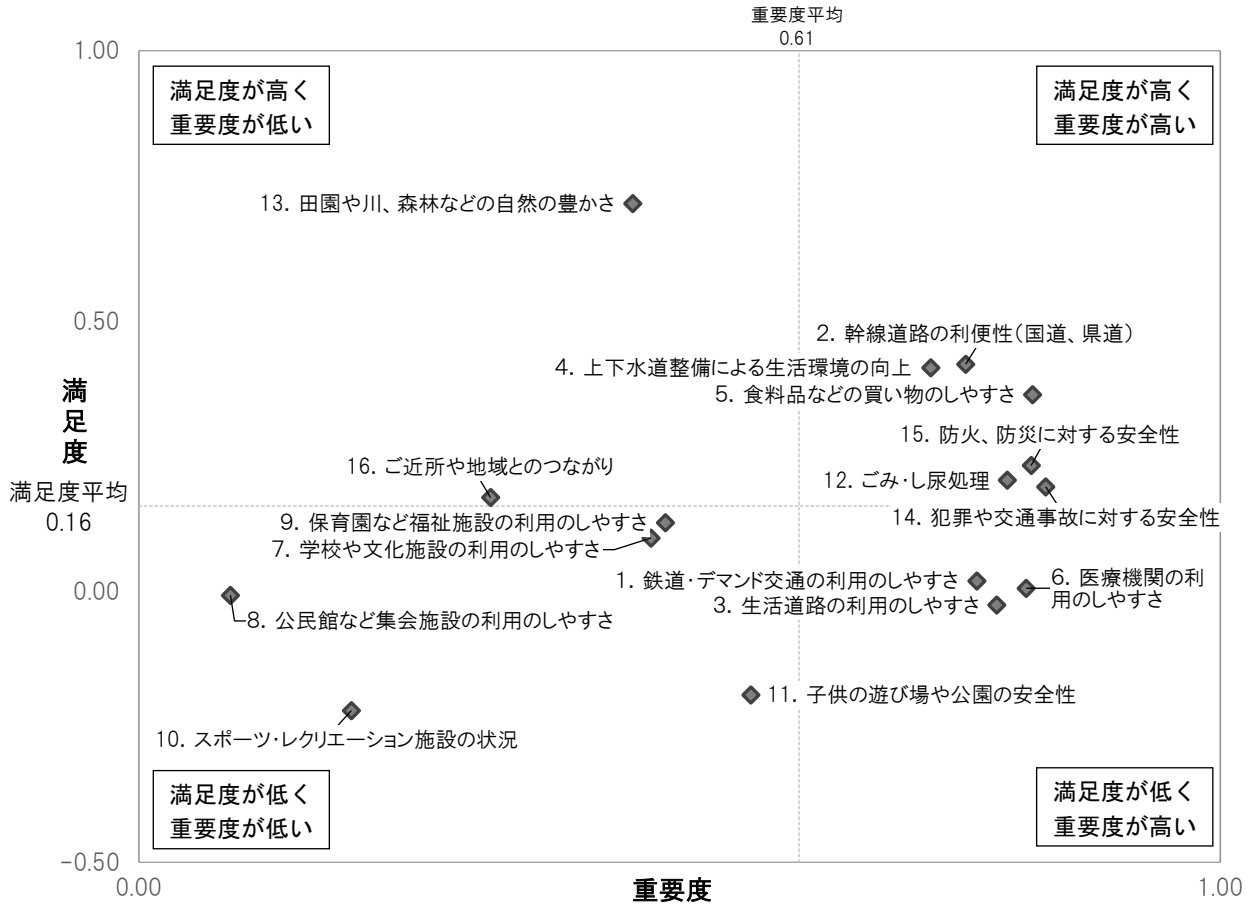
《項目別の評価：満足度》



《項目別の評価：重要度》

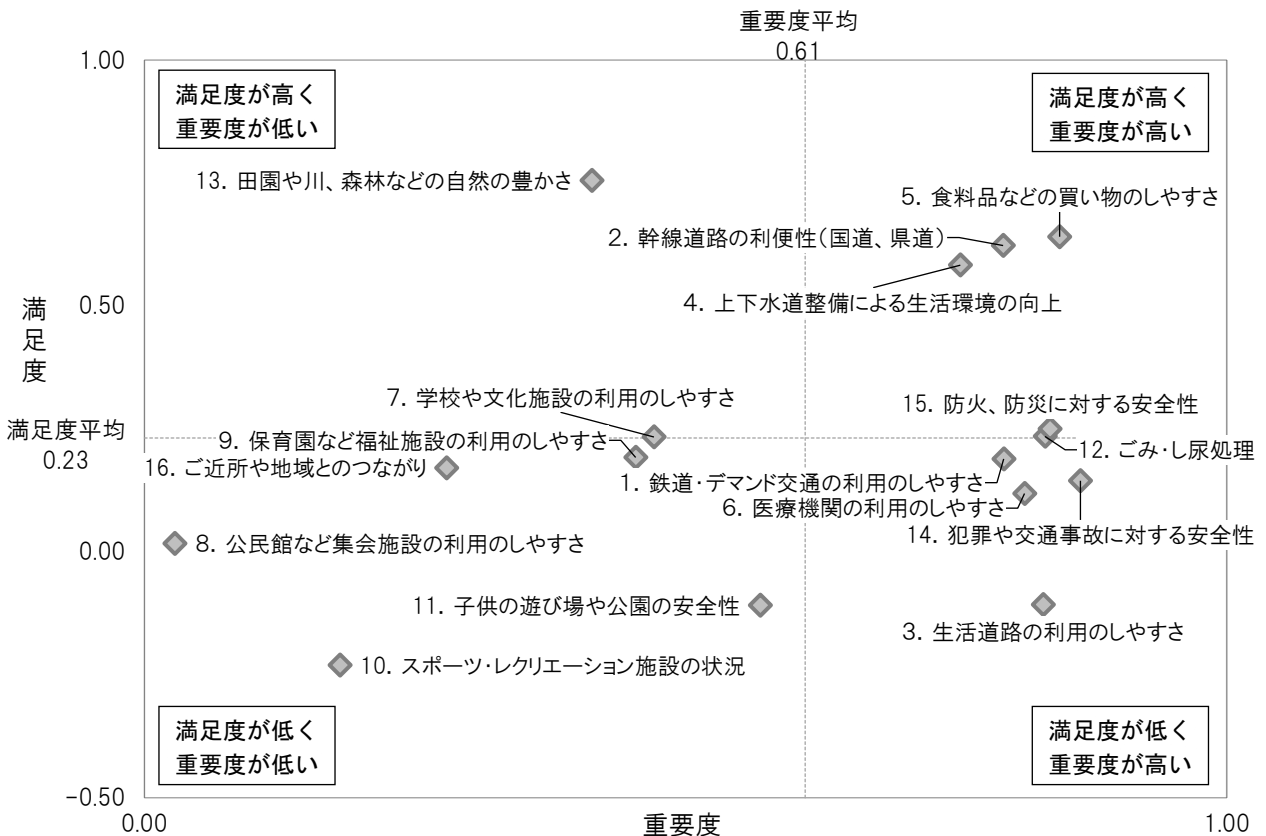


《項目別の評価：満足度と重要度の相関》



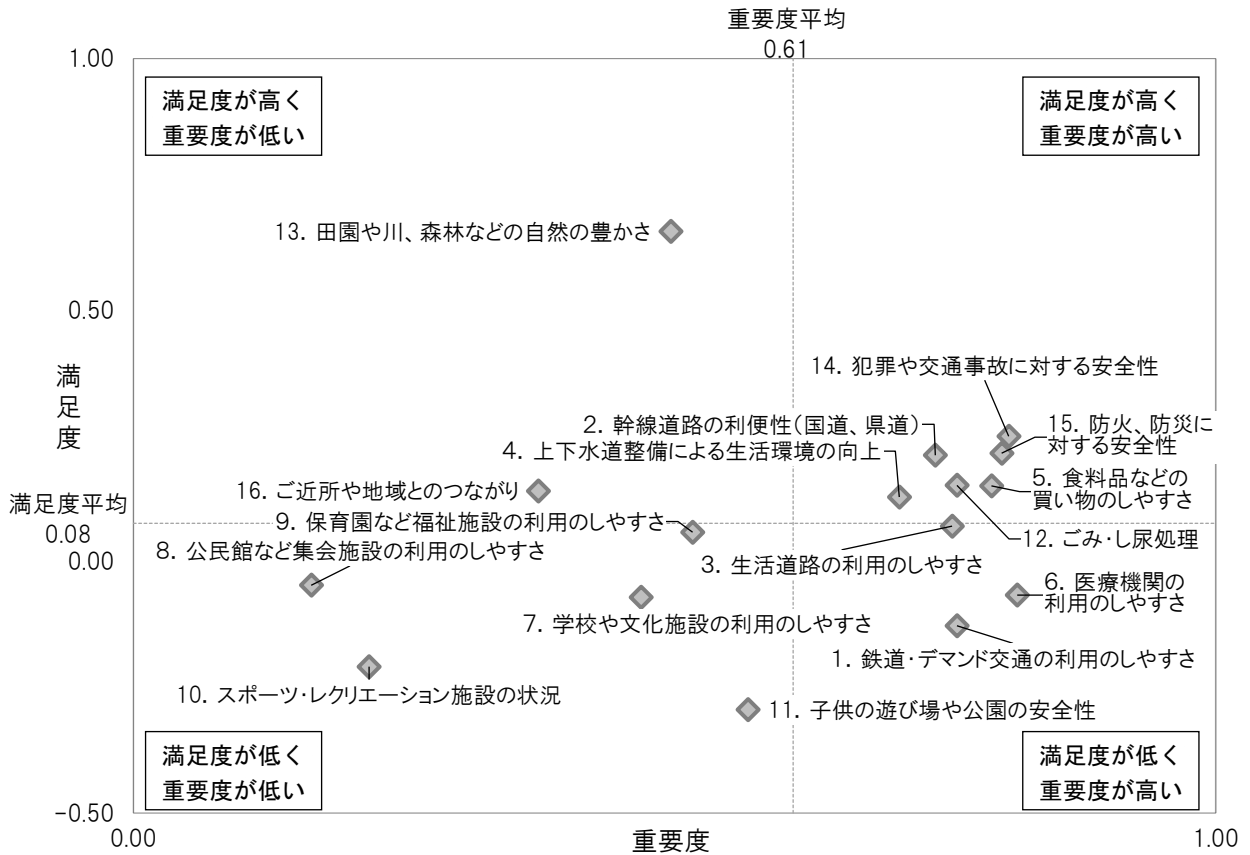
満足度・重要度の地域別結果：西部地区

《項目別の評価：西部地区の満足度と重要度の相関》



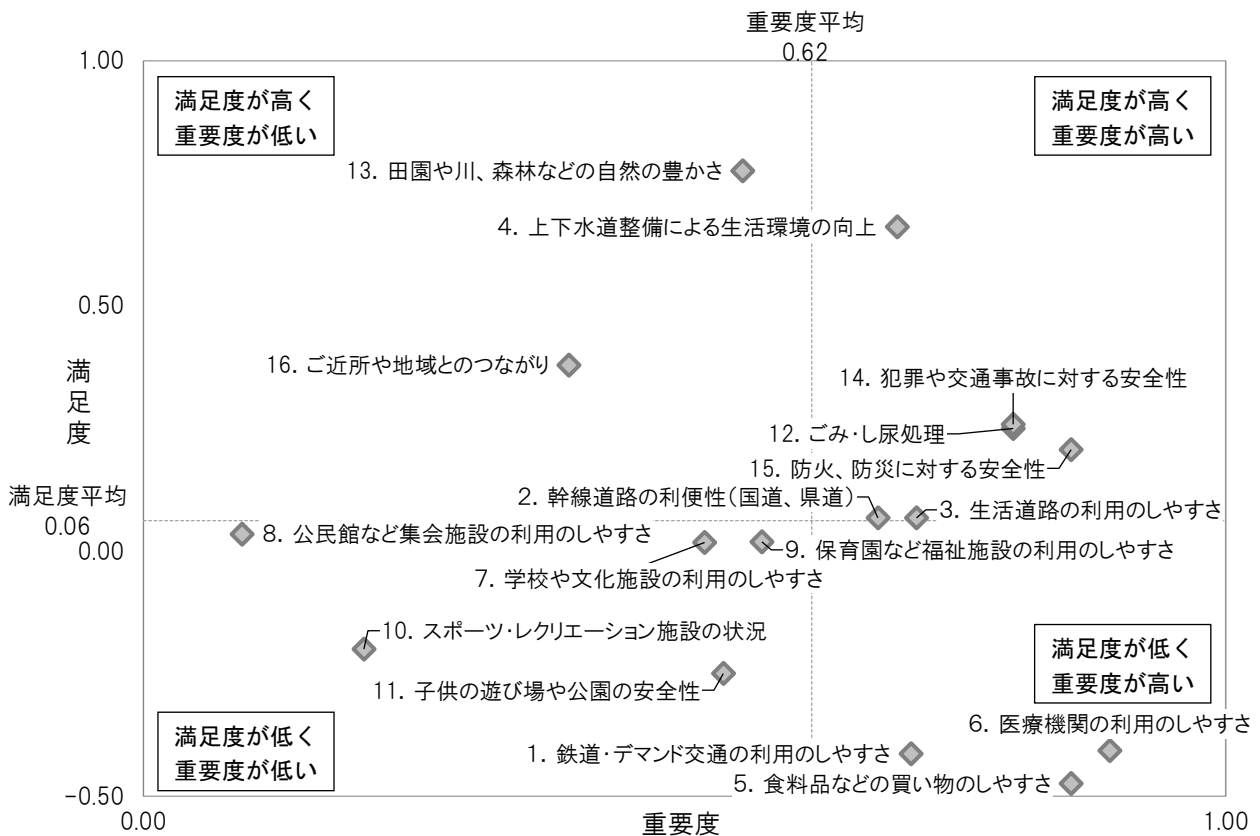
満足度・重要度の地域別結果：中央部地区

《項目別の評価：中央部地区の満足度と重要度の相関》



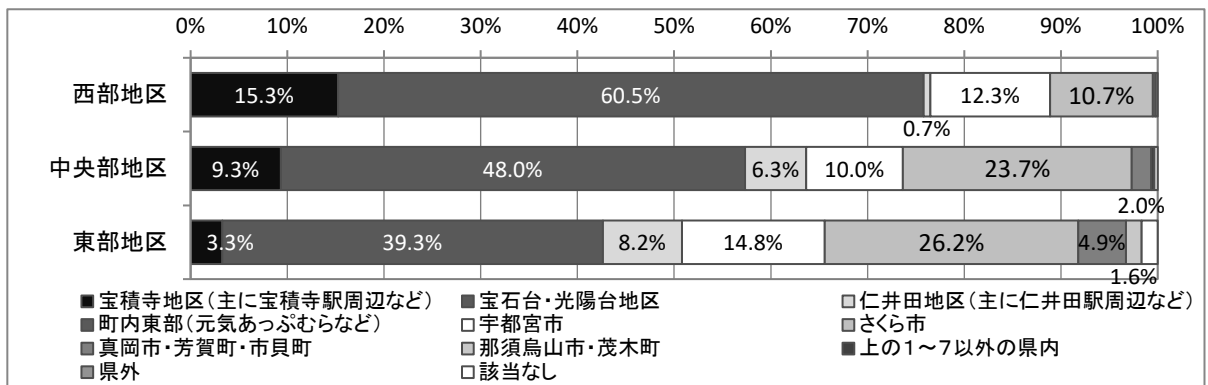
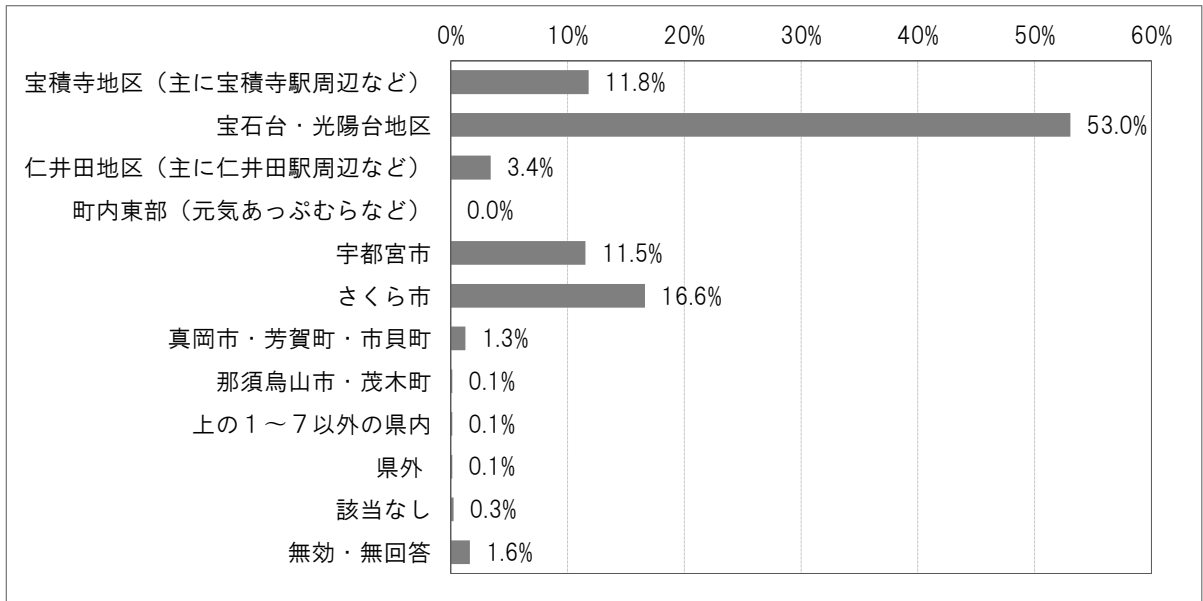
満足度・重要度の地域別結果：東部地区

《項目別の評価：東部地区の満足度と重要度の相関》

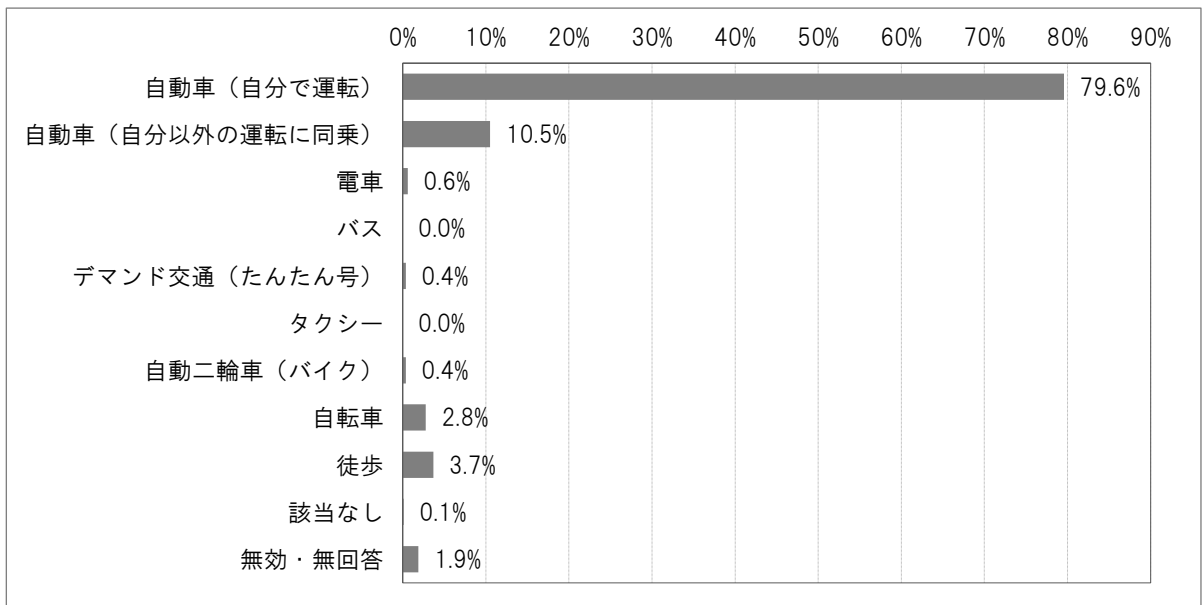


問9 買い物・レジャーなどについて、最もよく利用する行き先とその際の交通手段を下の口からそれぞれ1つ選んで①～⑥の回答らんじに番号を記入してください。

①食料品・日用雑貨品などの買い物
《 行き先 》

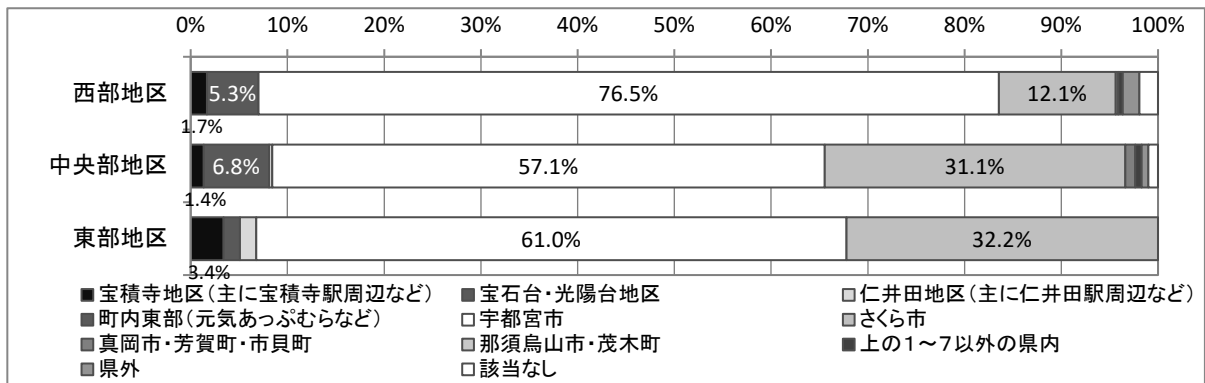
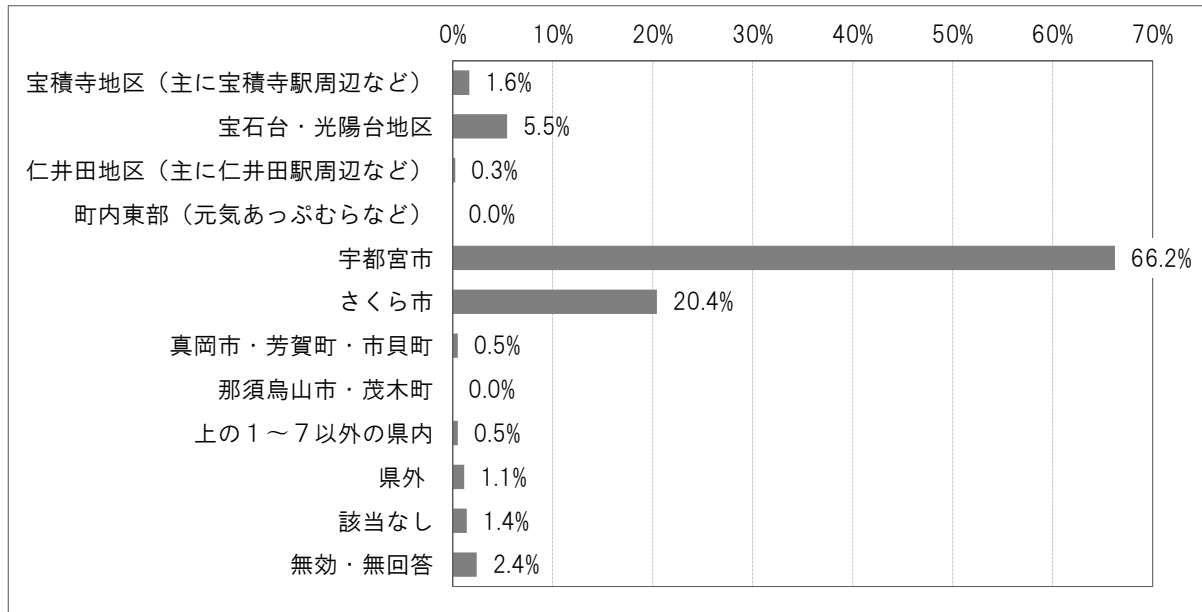


《 交通手段 》

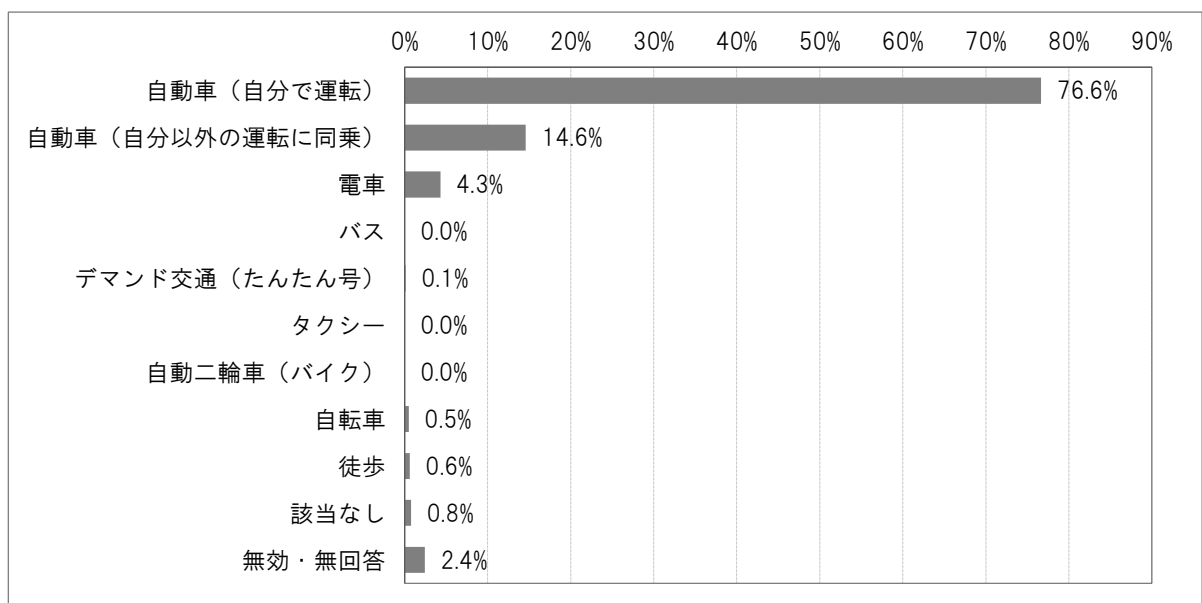


②衣料品・家電品・趣向品などの買い物

《 行き先 》

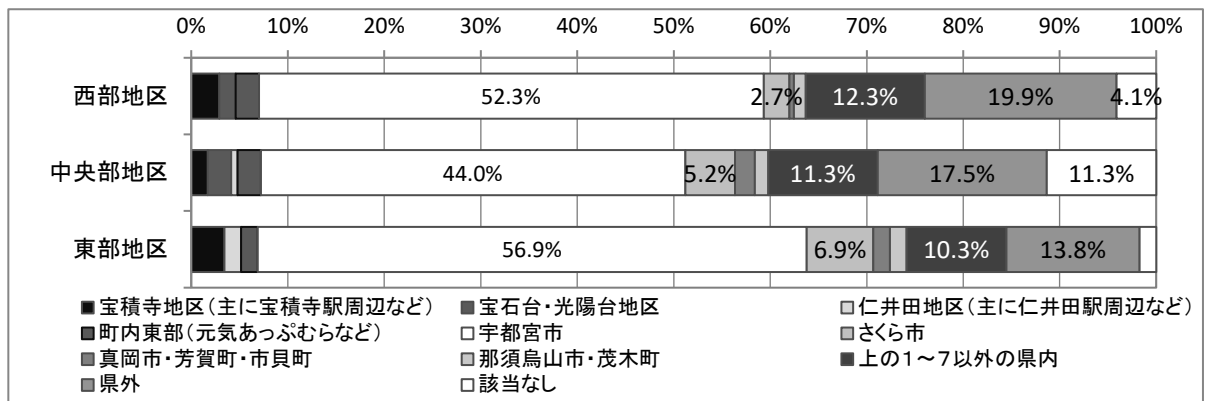
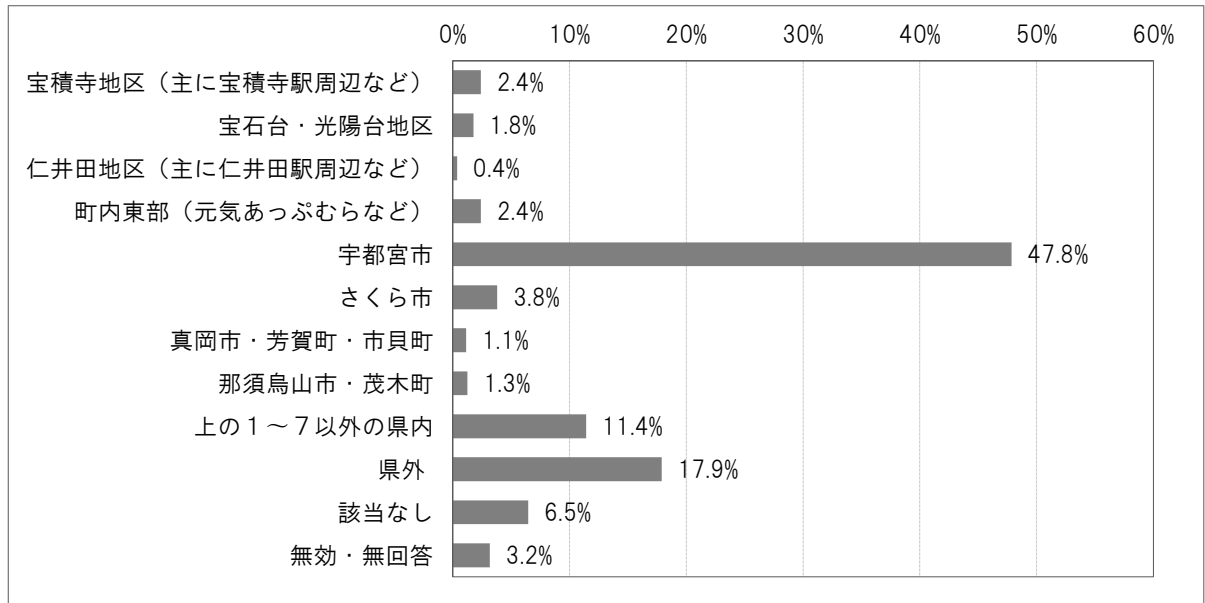


《 交通手段 》

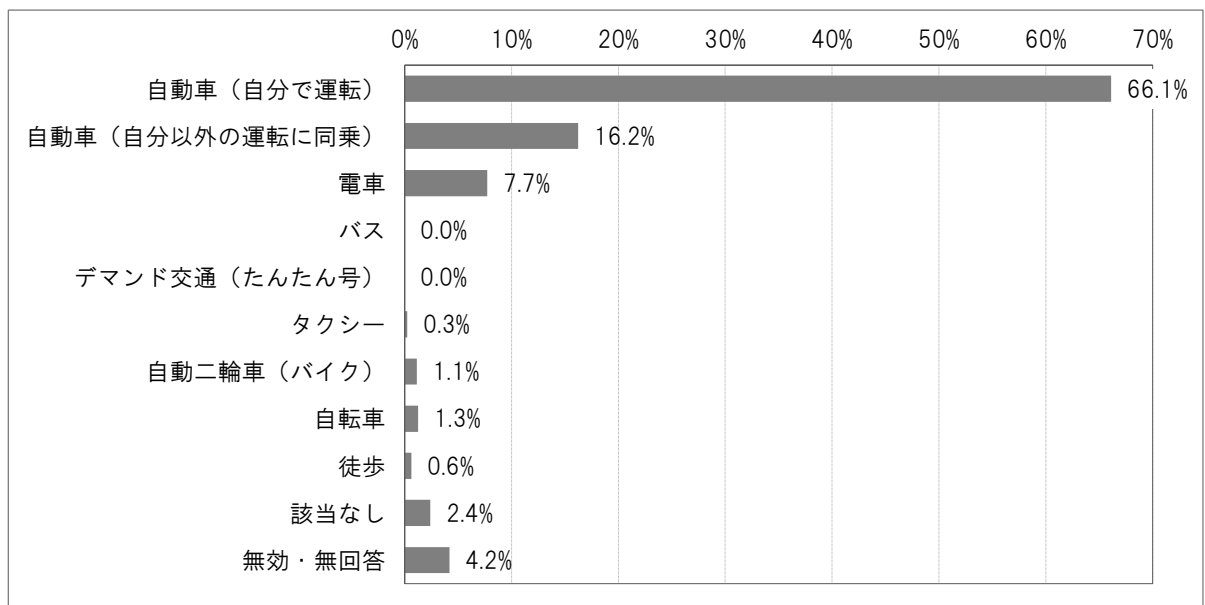


③余暇

《 行き先 》

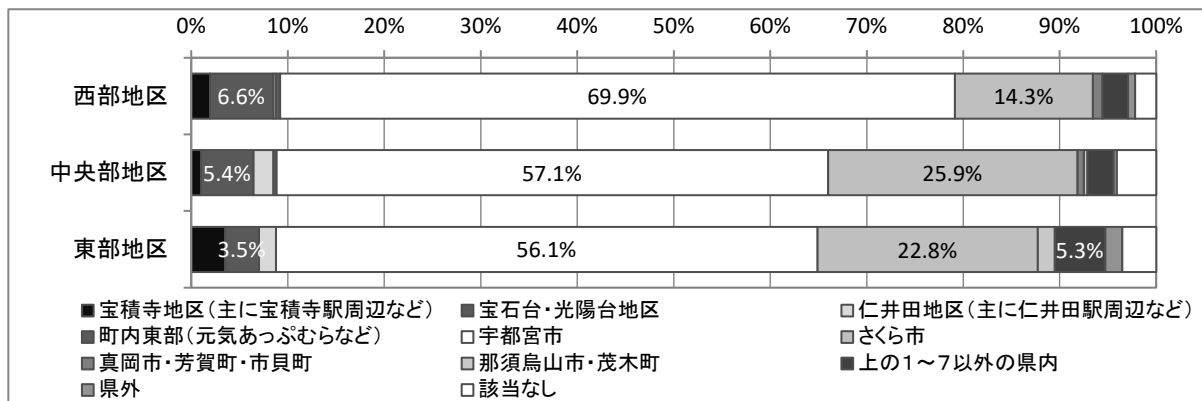


《 交通手段 》

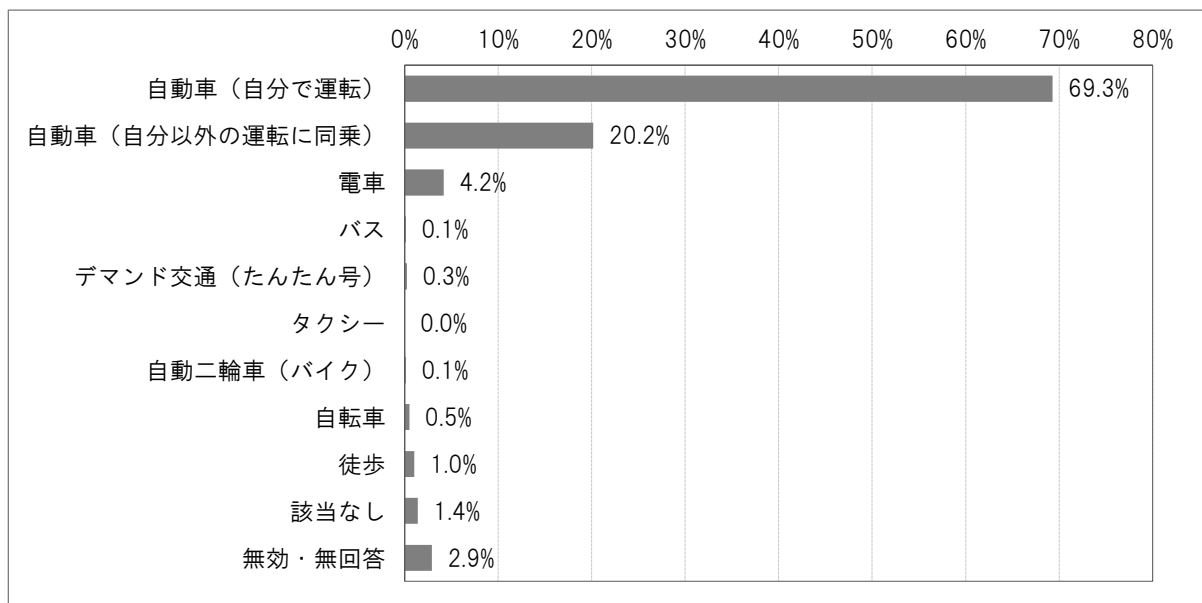


④外食（軽食・喫茶を含む）

《 行き先 》

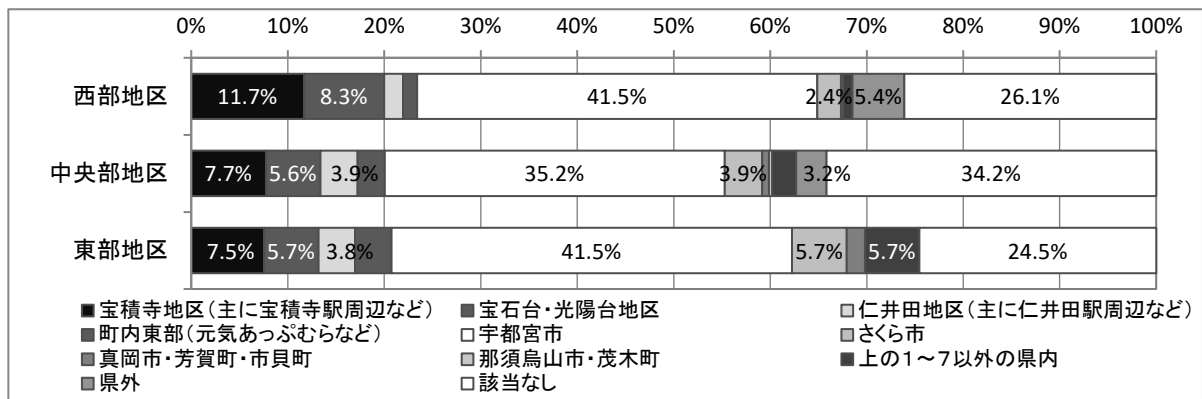
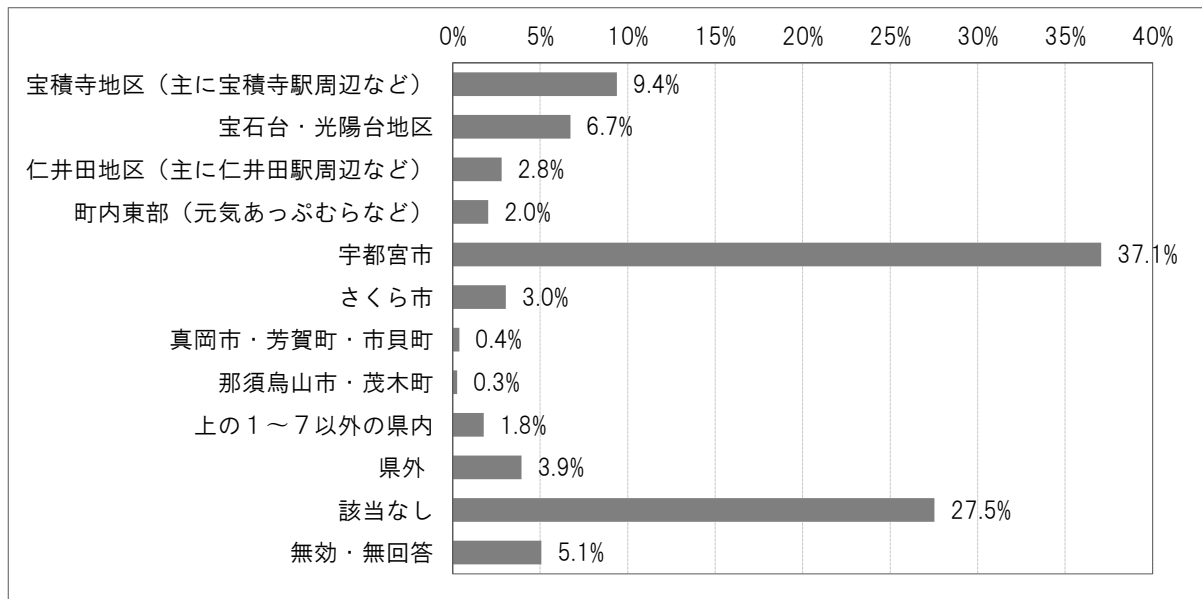


《 交通手段 》

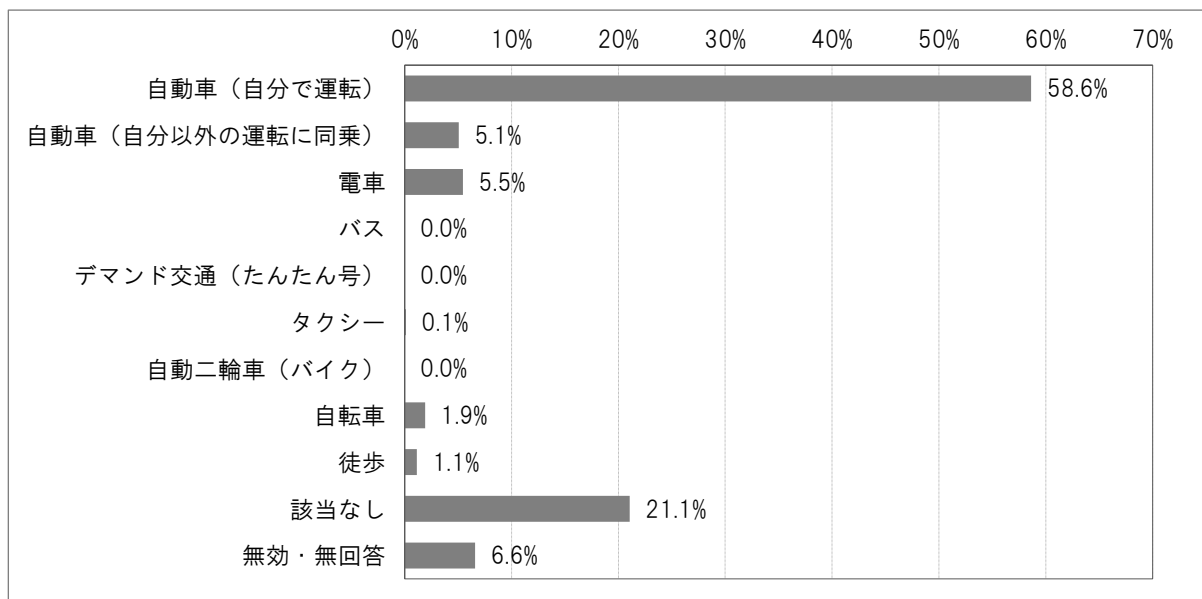


⑤教養・文化活動・習い事など

《 行き先 》

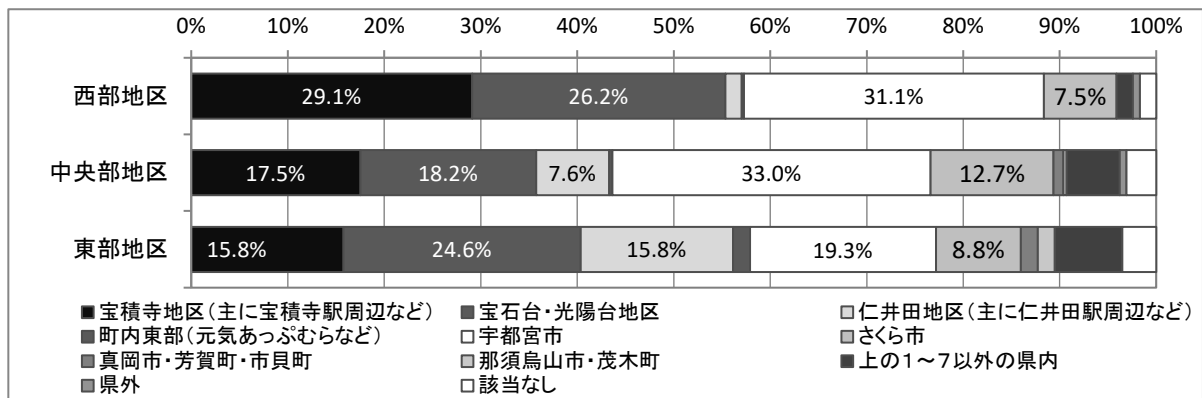
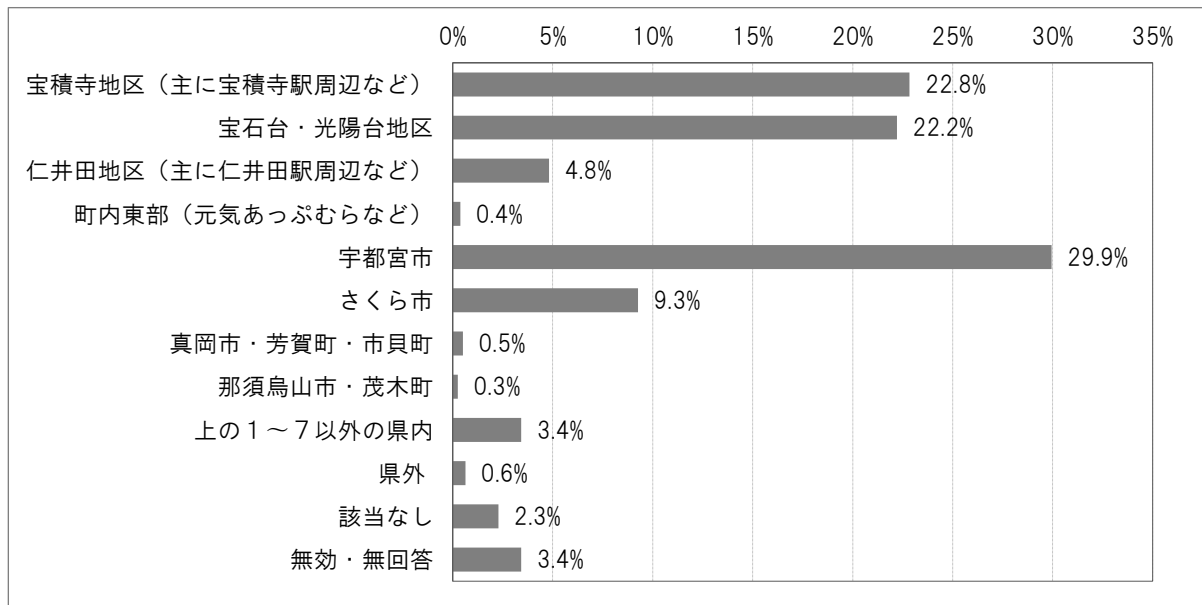


《 交通手段 》

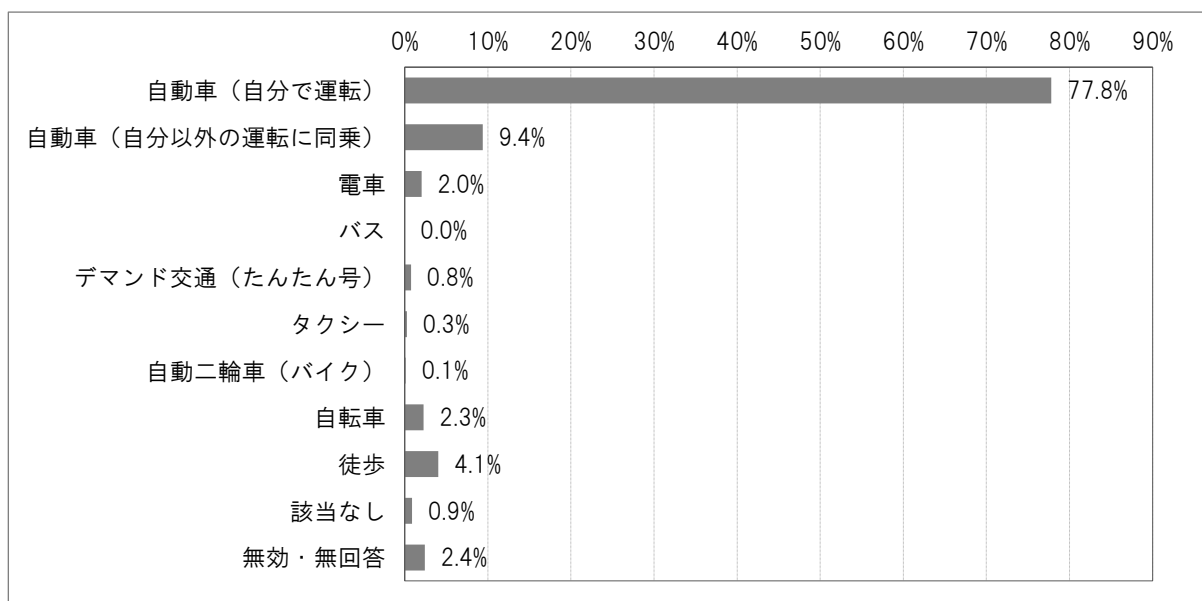


⑥医療機関

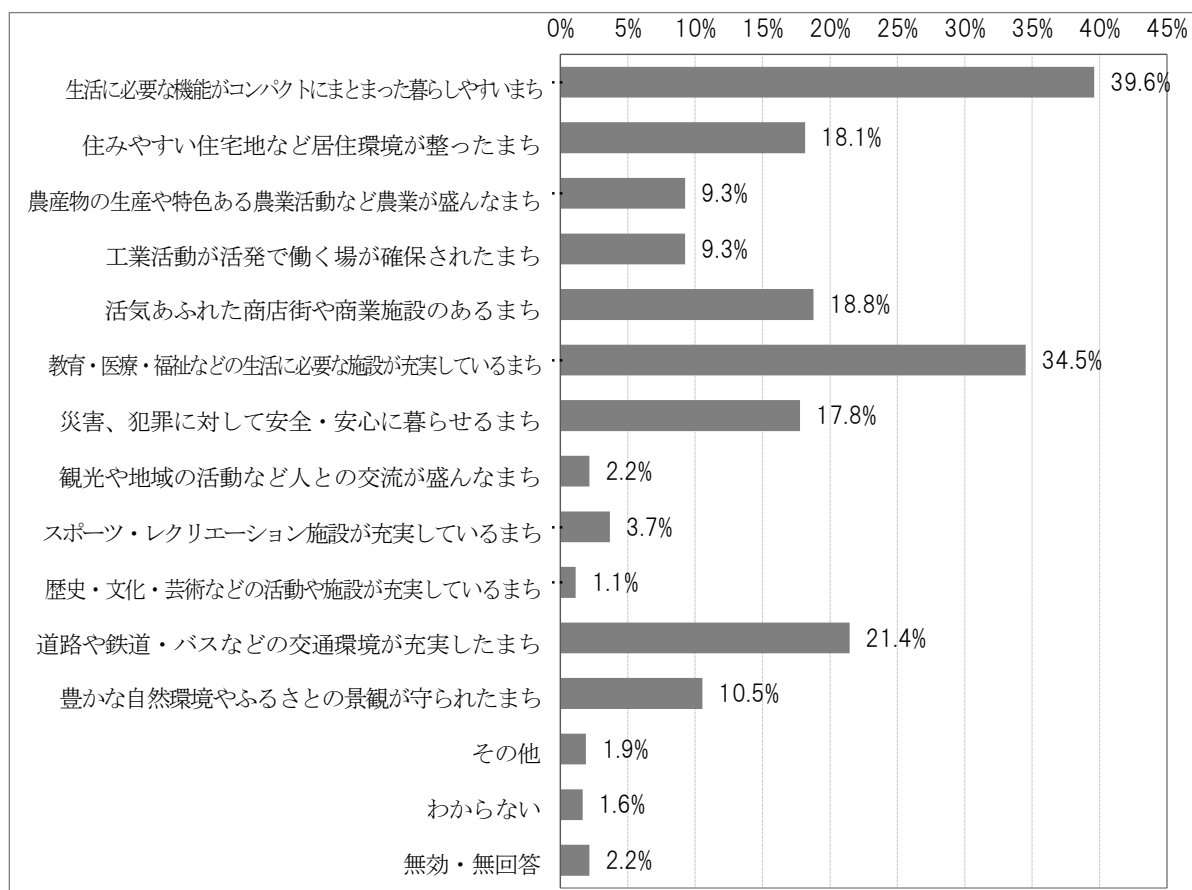
《 行き先 》



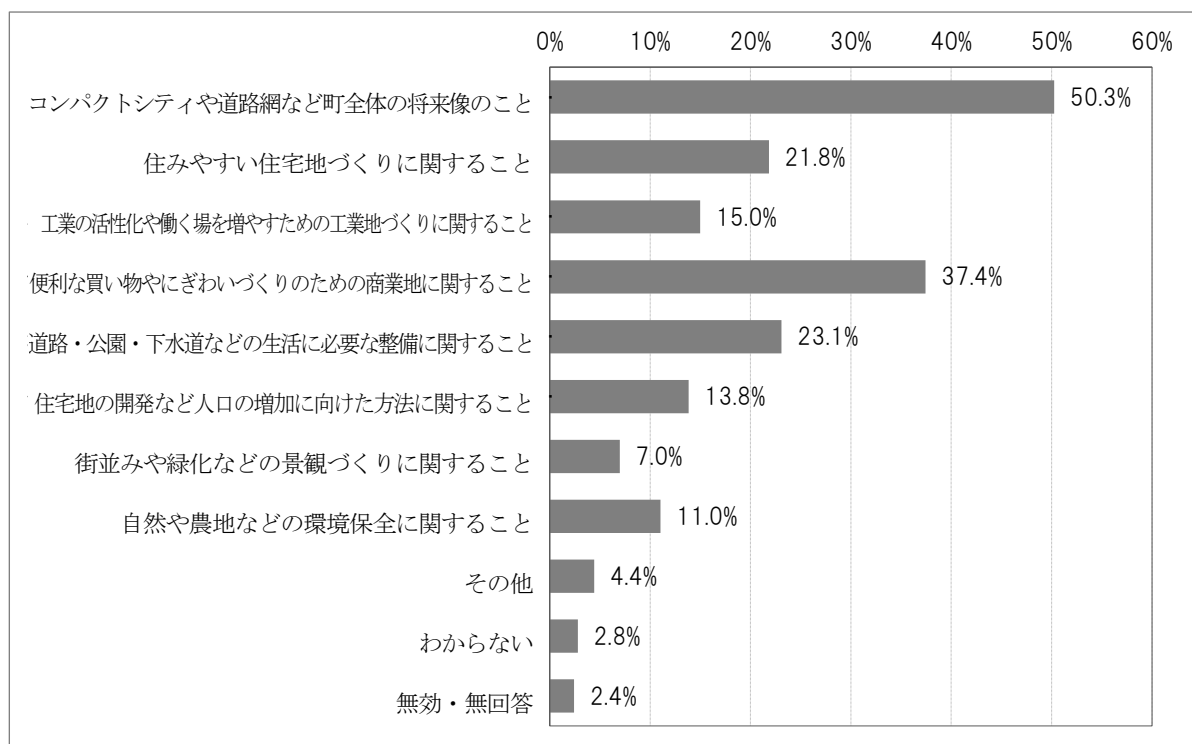
《 交通手段 》



問10 あなたは将来の高根沢町がどのようなまちになることを望んでいますか。(複数回答)

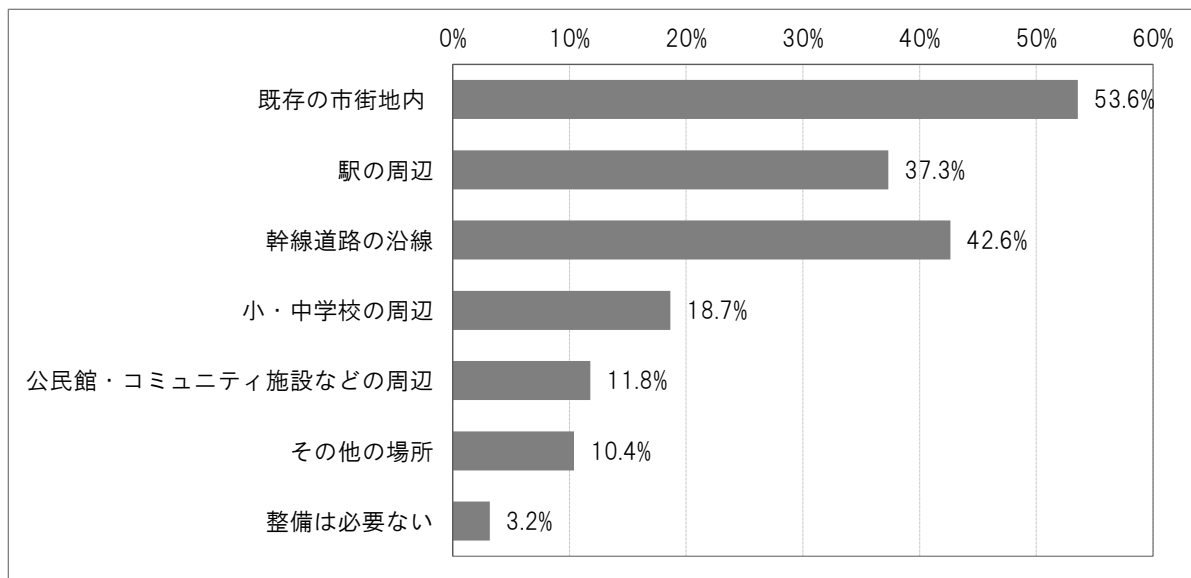


問11 あなたは今回の『都市計画マスタープラン』の見直しにおいて、どのような点を重視してほしいと思いますか。(複数回答)

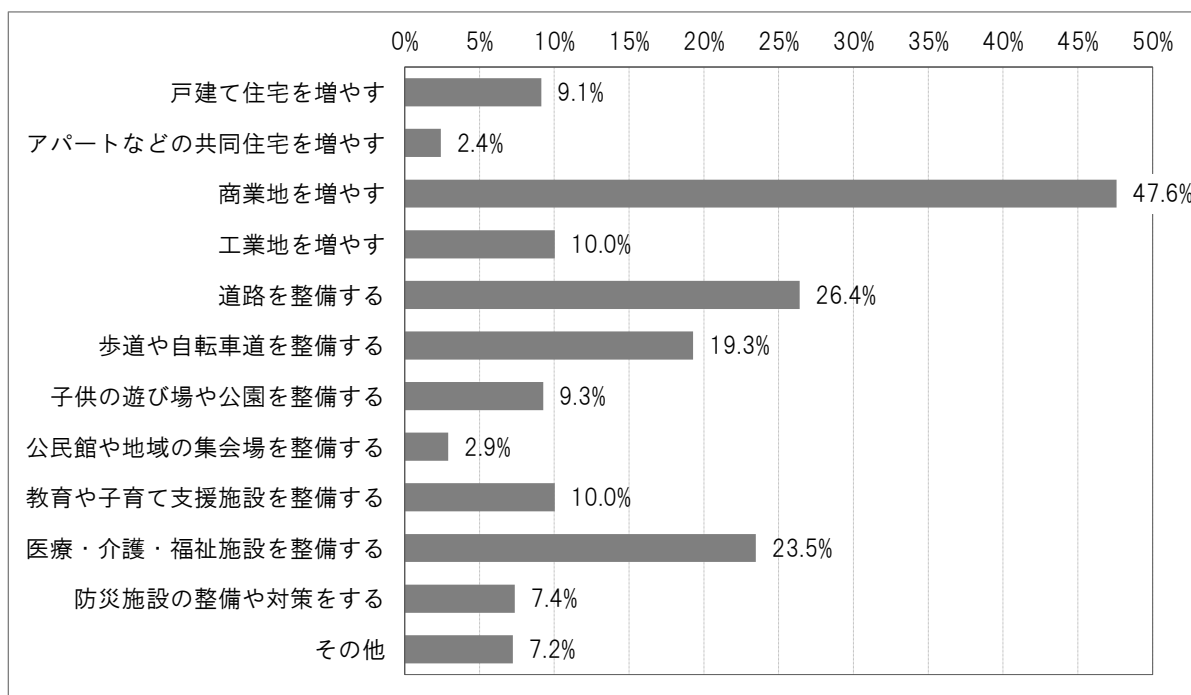


問 12 これからの高根沢町のまちづくりを考えた場合、どのような場所に、どんな整備をするべきだと思いますか。（組み合わせを2つまで選んでそれぞれ番号を記入）

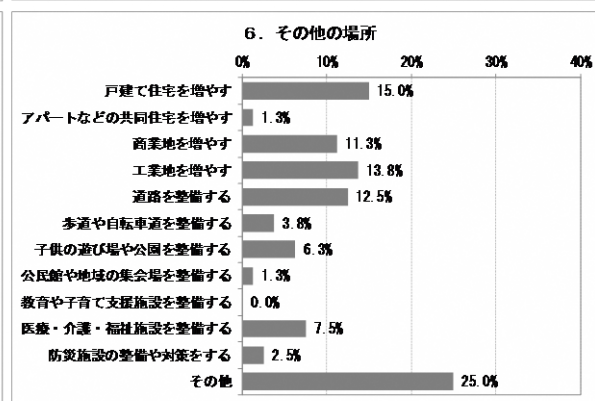
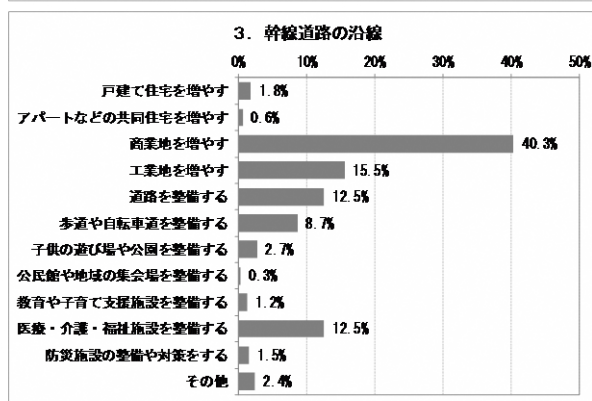
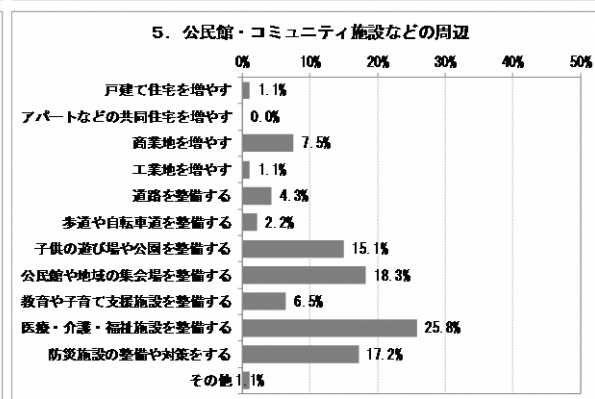
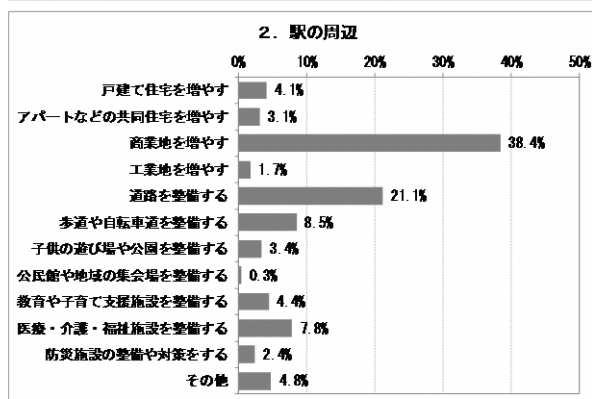
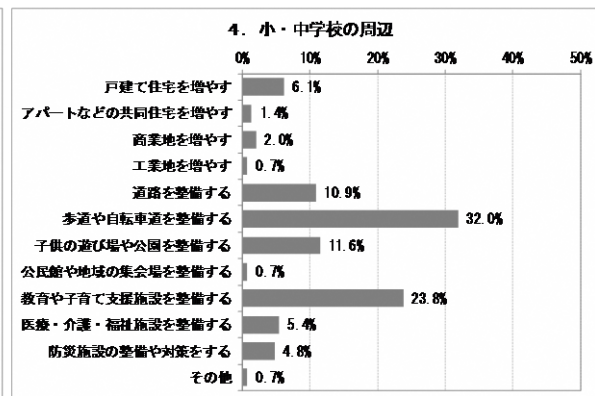
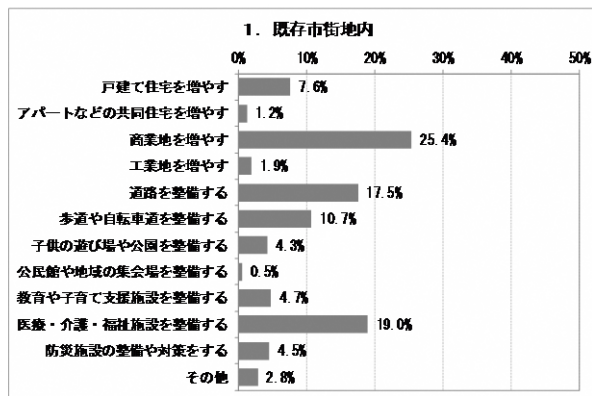
《整備すべき場所》



《整備すべきこと》

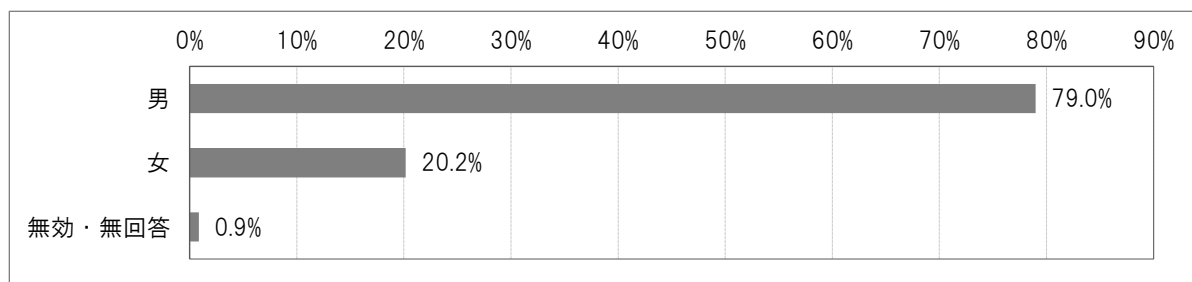


《「整備すべき場所」別の「整備すべきこと」(どこに何を整備するか)》

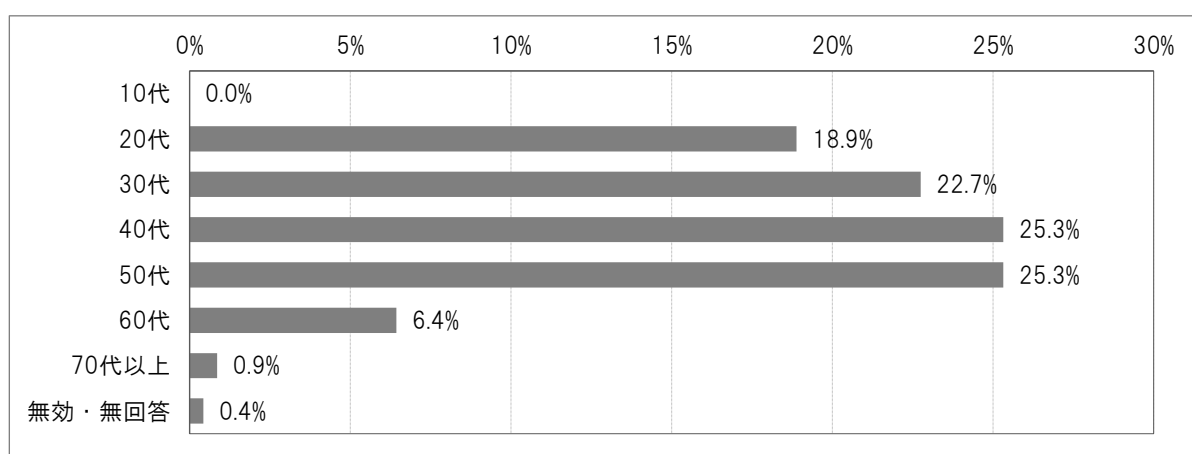


(3) 従業者アンケート調査結果

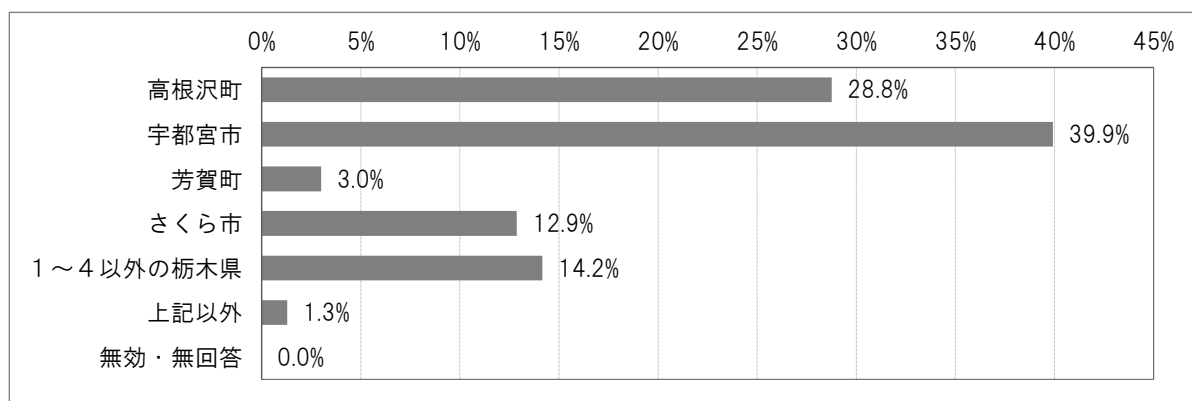
問1 あなたの性別



問2 あなたの年齢

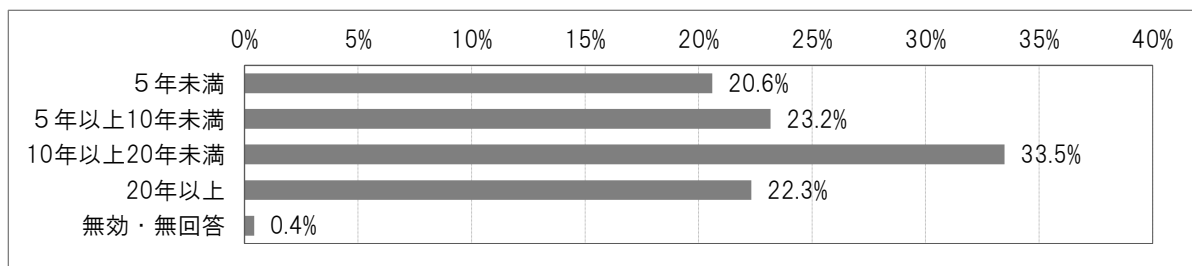


問3 あなたのお住まい

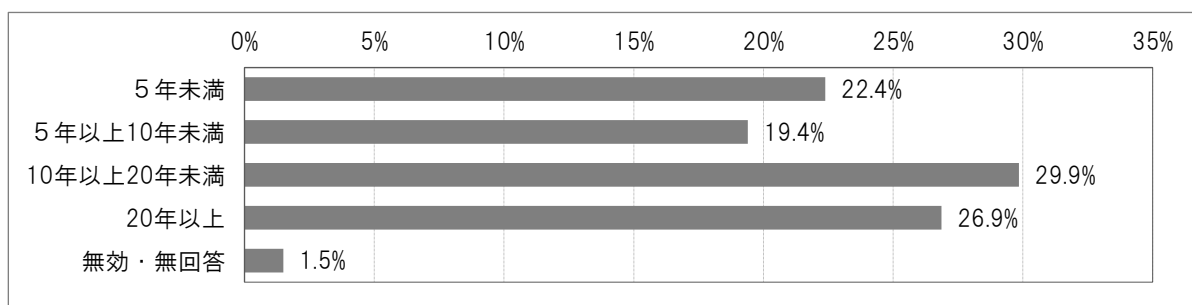


問4 あなたは高根沢町で就業して何年になりますか。町内在住の方はお住まいの年数をお答えください。

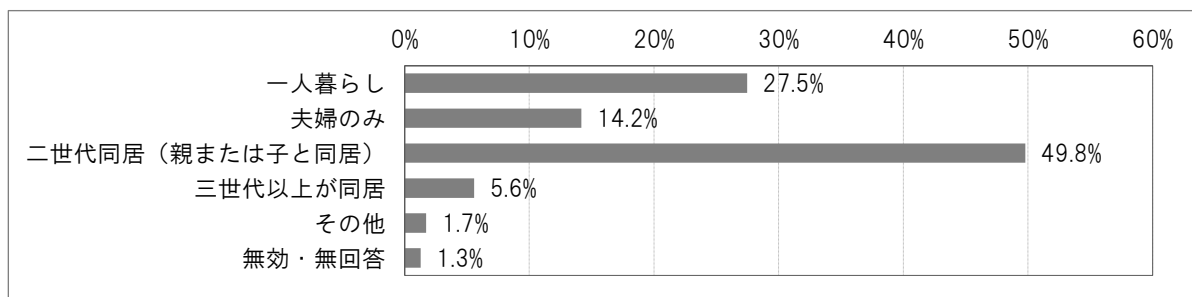
《 就業歴もしくは居住歴 》



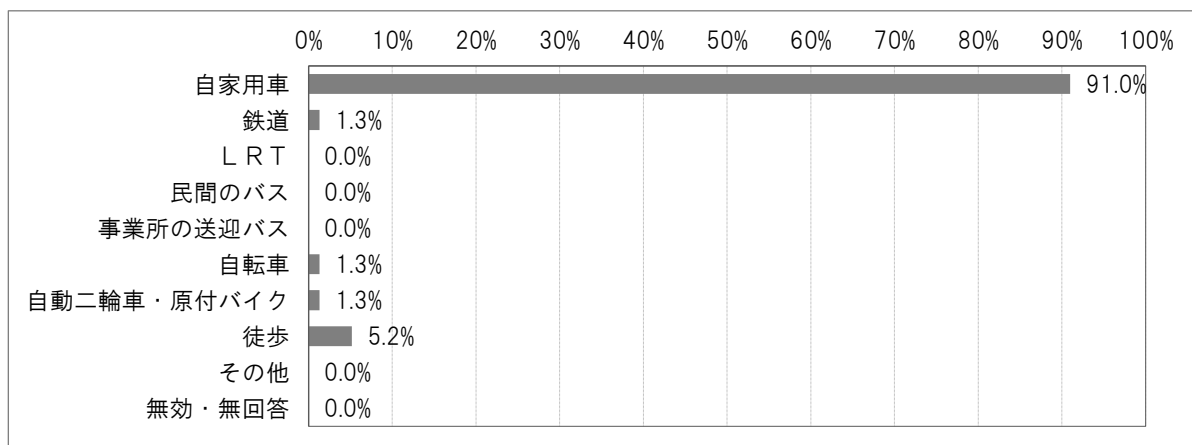
《 町内在住の方のみ 》



問5 あなたが現在同居しているご家族を教えてください。

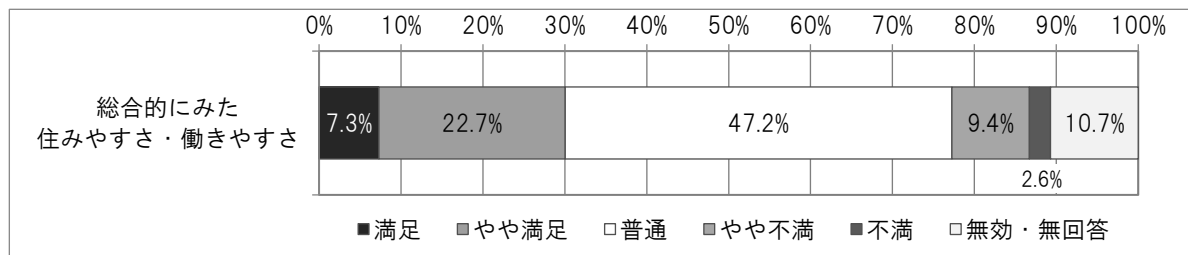


問6 勤務先までの主な交通手段は何ですか。

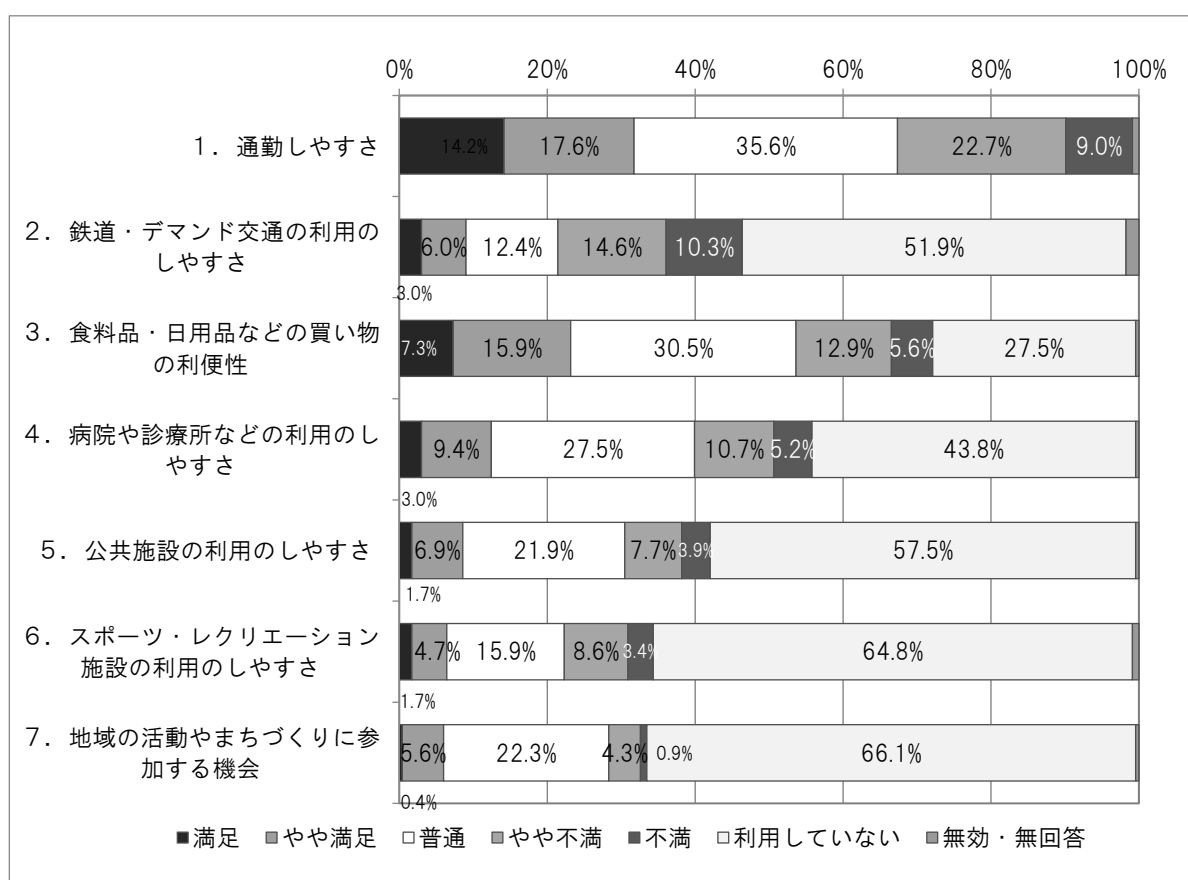


問7 高根沢町の就業環境や生活環境に関する以下の項目について、満足度（5段階）を評価してください。

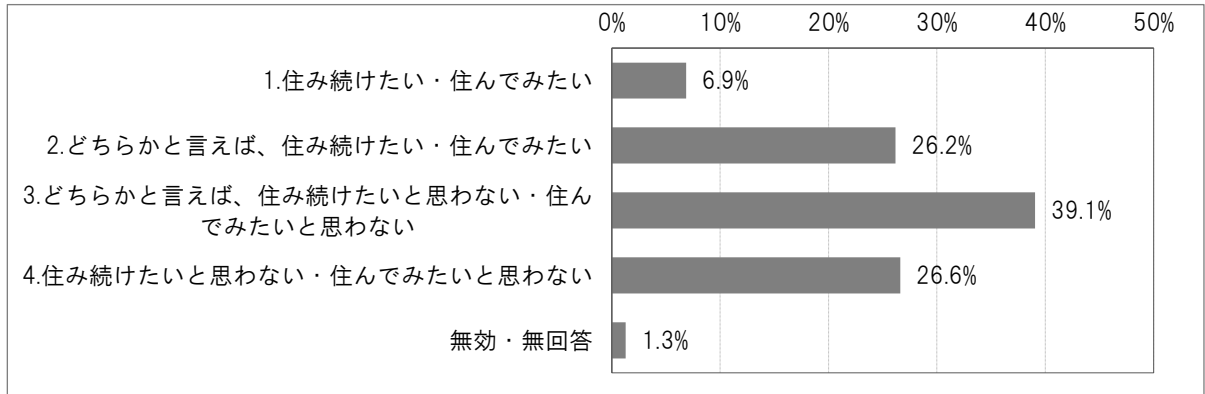
《総合的にみた住みやすさ・働きやすさの評価》



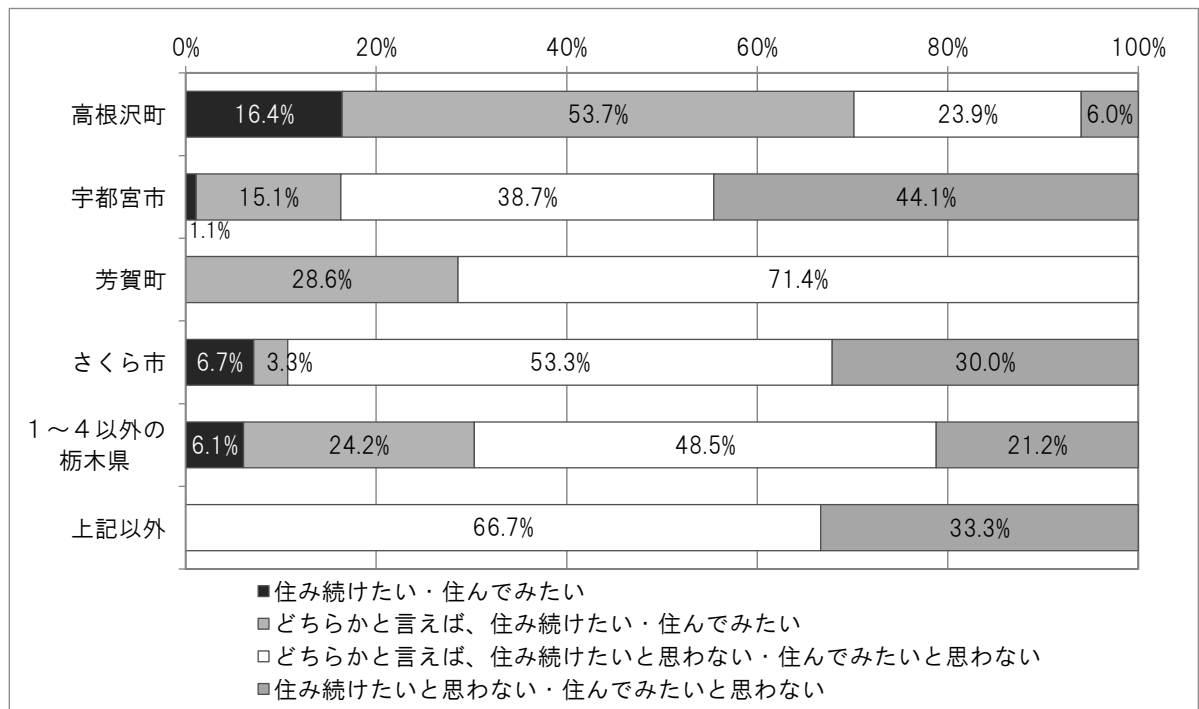
《項目別満足度の評価》



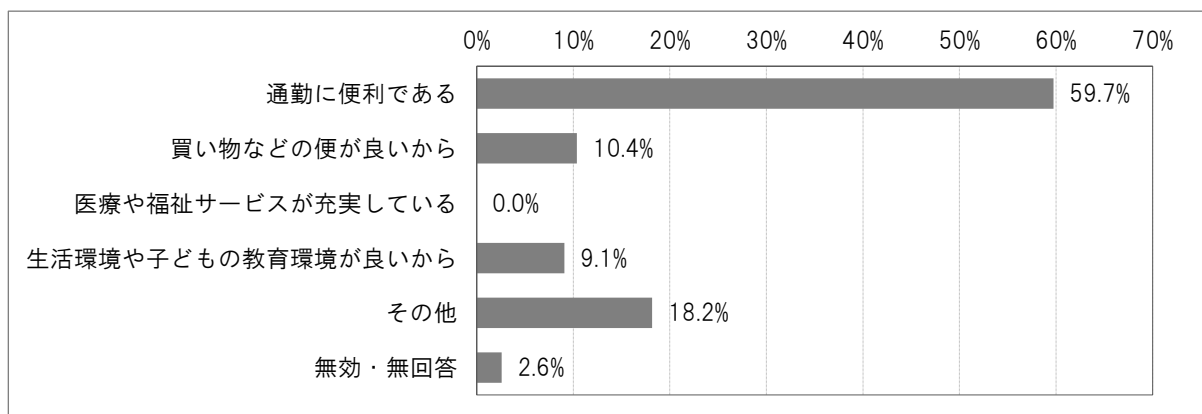
問8 あなたは高根沢町に住み続けたい・住んでみたいと思いますか。



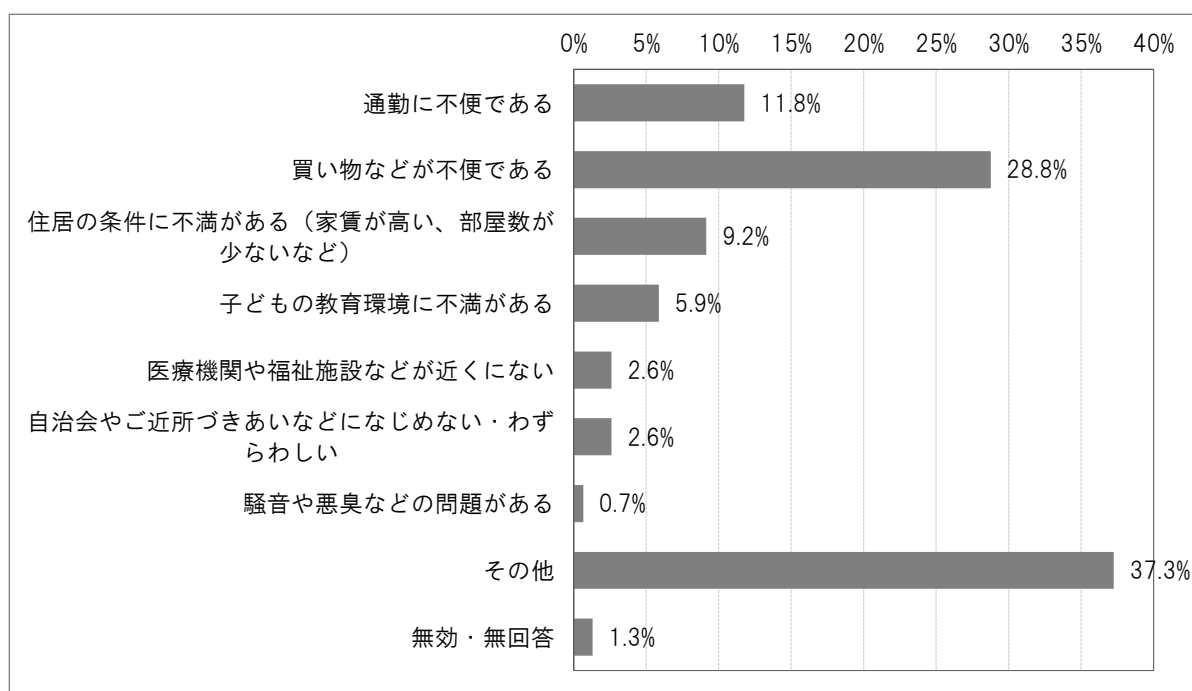
【居住地別比較】



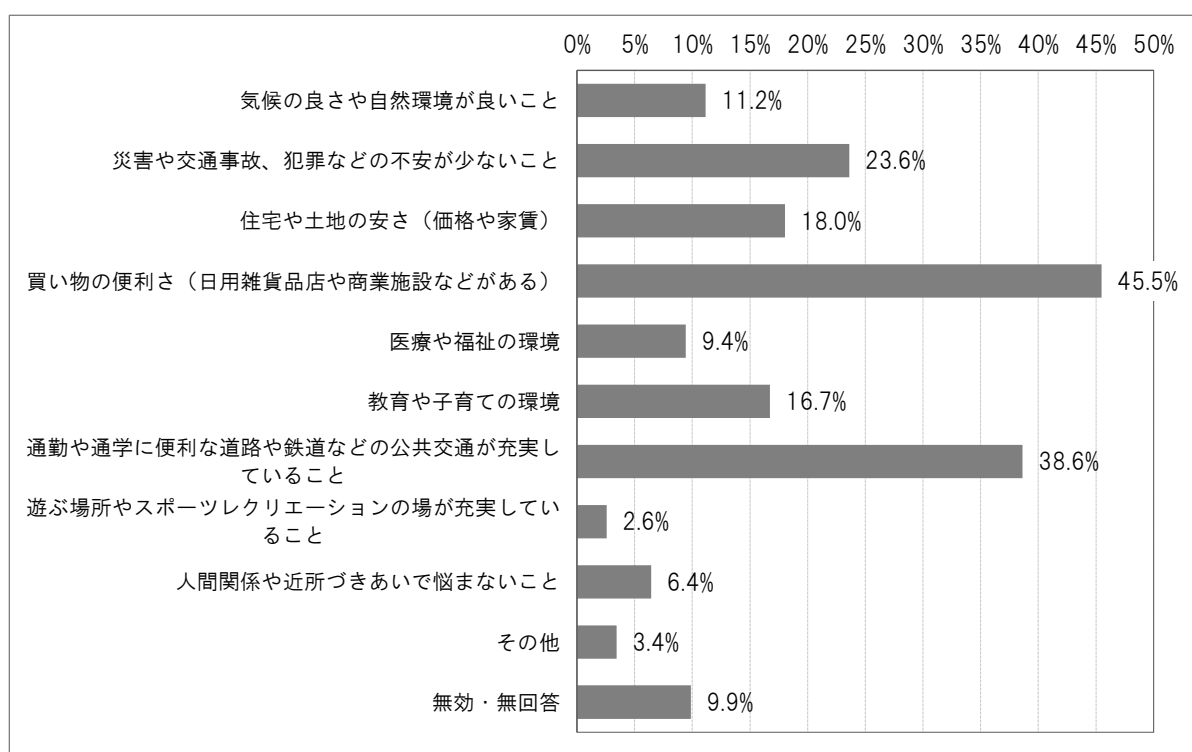
問8-1 問8で『1』、『2』を選ばれた方にお伺いします。高根沢町に住み続けたい・住んでみたいと思う理由は何ですか。



問8-2 問8で『3』、『4』を選ばれた方にお伺いします。高根沢町に住み続けたいと思わない・住んでみたいと思わないと思う理由は何ですか。

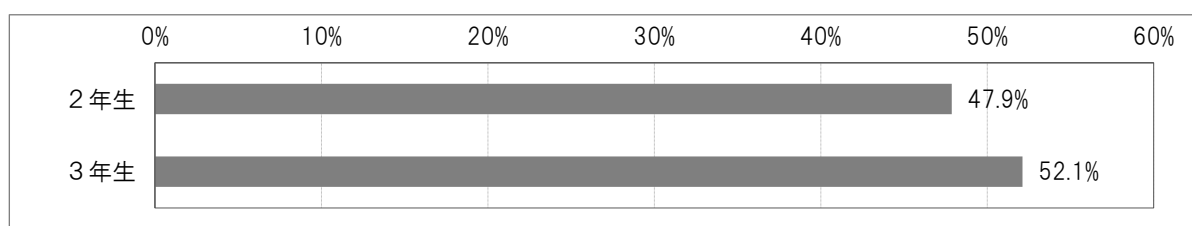
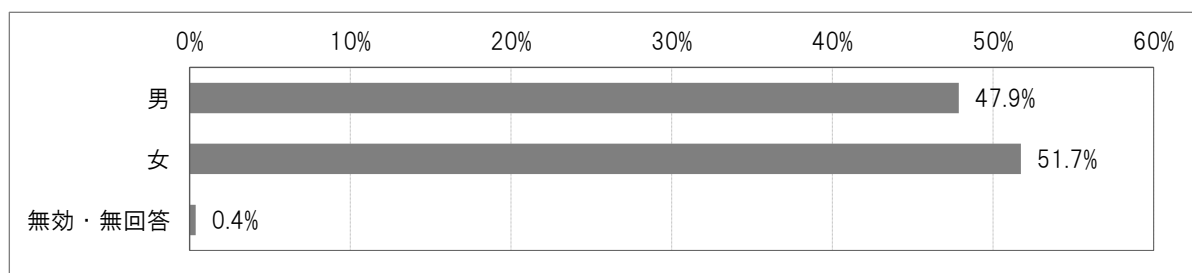


問9 あなたは住む場所を選ぶときにどんなことを重視しますか。

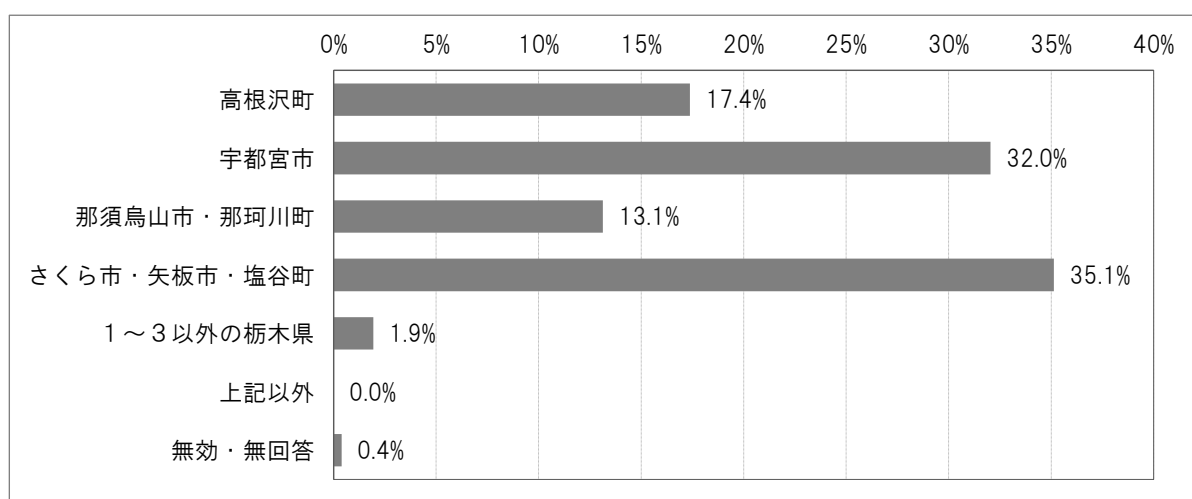


(4) 高校生アンケート調査結果

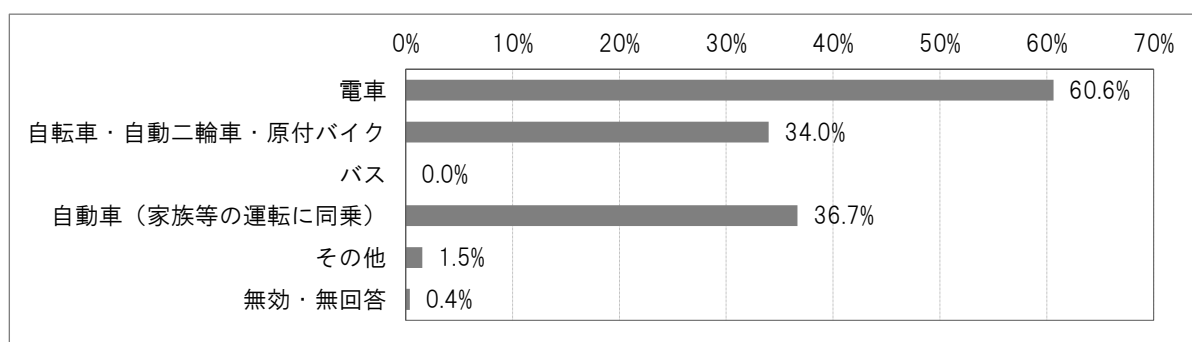
問1 あなたの性別・学年



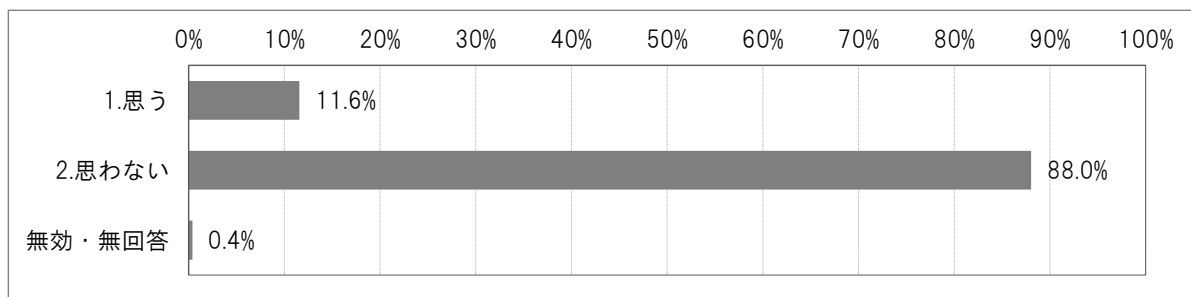
問2 あなたのお住まい



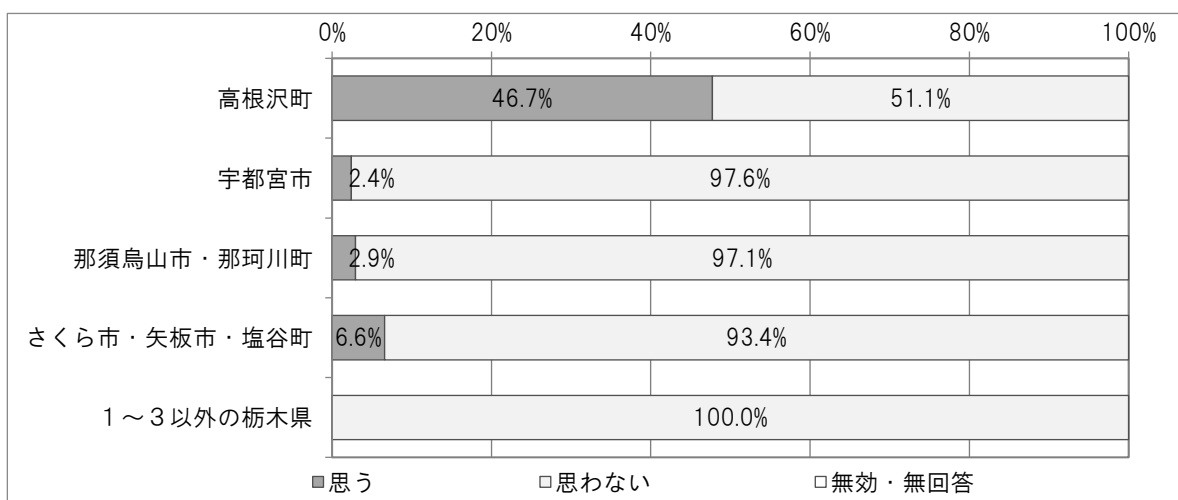
問3 あなたは、通学するときに何を利用していますか。



問4 あなたは、高根沢に住んでみたいと思いますか。



【居住地別比較】



問5 問4で『1』と答えた理由を教えてください。

- 「住み慣れた場所だから」「自分の家があるから」「ちょうどいい」など。

問6 問4で『2』と答えた理由を教えてください。

- 施設や交通の便などの不満。
- 町内居住者による「何もない、不便だから」「交通の便が悪い」「田舎だから、周りに何もないから」「興味がない、特に何も思わない、つまらなそう」「商業店舗、娯楽施設等が少ない」などの回答。

問7 あなたは、どのような「まち」であれば住みたいと思いますか。

- 「いろんなお店があるまち・近くにお店があるまち」「交通が便利なまち」など。